



「キリストの光は
イエス・キリストを
介して
神から発せられる
神聖な力
または影響力です。
キリストの光は
万物に
光と命を与えます。」

十二使徒定員会
リチャード・G・スコット長老
「良心の安らぎと心の安らぎ」
【リアホナ】2004年11月号, 15



メッセージ

- 4 大管長会メッセージ——
主はよみがえられました
ヘンリー・B・アイリング管長
- 7 家庭訪問メッセージ——
神殿の聖約

特集

- 12 死と命——
復活についての開拓者の観点
開拓者と教会初期の預言者が復活
に希望を見いだすことについて証を
しています。

18 イエス・キリストの使命と教導の業

ラッセル・M・ネルソン長老
主に従い、その贖いを理解するよう
に努めるとき、救い主の生涯から倣
えることが5つあります。

26 復活祭の週

生涯最後の週に、救い主はすべて
において最も偉大な奇跡を行われ
ました。

30 バプテスマに備えられるように
子供たちを助ける

ジェシカ・ラーセン、
マリッサ・ウィディソン
子供のバプテスマをより意義深いもの
にするために、親には何ができるで
しょうか。

34 神殿に引き寄せられて

ジャイロ・マサガルディ長老
神殿がどのように改宗をもたらすか、
学びましょう。

シリーズ

- 8 4月の大会ノート——
ともに大会の説教を研究する
グレッグ・パティ
- 9 『若人の強さのために』の教え——
良い友達の大切さ
- 10 わたしたちが信じていること——
聖霊は慰め、鼓舞し、証してくださる
- 36 末日聖徒の声
- 74 教会のニュース
- 80 また会う日まで——源から飲む
アロン・L・ウェスト

表紙

表紙——フォトイラスト/ティム・タガート ©IRI
裏表紙——フォトイラスト/マシュー・ライアー
中表紙——写真/クリスティーナ・サムスカ

末日聖徒イエス・キリスト教会国際機関誌(日本語版)

大管長会: トーマス・S・モンソン、ヘンリー・B・アイリング、ティーター・F・ウーグトルフ

十二使徒定員会: ボイド・K・バックナー、L・トム・ベリ、ラッセル・M・ネルソン、ダリン・H・オークス、M・ラッセル、バラード、リチャード・G・スコット、ロバート・D・ヘイルズ、ジェフリー・R・ホランド、デビッド・A・ベドナー、クエンティン・L・クック、D・トッド・クリストファーソン、ニール・L・アンダーセン

編集長: クレーグ・A・カードン

顧問: シェーン・M・ポーエン、ブラッドリー・D・フォスター、クリストフェル・ゴールデン・ジュニア、アンソニー・D・パーキンス

実務運営ディレクター: デビッド・T・ワーナー

家族・会員支援ディレクター: ピンセント・A・ボーン

教会機関誌ディレクター: アラン・R・ロイボーク

ビジネスマネージャー: ガーフ・キャン

編集主幹: R・バル・ジョンソン

編集主幹補佐: ライアン・カー、ラリーン・ポーター、ガートン

出版補佐: ミリッサ・センテノ

執筆・編集: スーザン・バレット、デビッド・ディクソン、デビッド・A・エドワーズ、マシュー・D・フリットン、ミンディ・ライ、フリードマン、ギャリー・H・ガーフ、ジェニファー・グレース・ジョンズ、ヒカリ・ロフタス、マイケル・R・モリス、リチャード・M・ロムニー、ポール・バンデンバーク、ジュリア・ウッドベリ

実務運営アートディレクター: J・スコット・クヌーセン

アートディレクター: タッド・R・ピーターソン

デザイン: ジャネット・アンドリュース、フェイ・P・アンドラス、C・キンボール、ポット、トーマス・チャイルド、ケリー・リン・C・ヘリン、コリン・ヒンクレー、エリック・P・ジョンソン、スコット・M・ムーイ、ブラッド・デア

版權および許諾コーディネーター: コレット・ネベカー・オーヌ

制作主幹: シェーン・アン・ピーターズ

制作: コニー・パウソフ・ブリッジ、ハーワード・G・ブラウン、ジュリー・パーデット、ブライアン・W・キギキ、キャスリーン・ハーワード、デニス・カービー、キニー・J・ニルソン、タイ・ビルチャー、ゲール・テート・ラファティ

製版: ジェフ・L・マーティン

印刷ディレクター: クレーグ・K・セドウィック

配送ディレクター: エバン・ラーセン

日本語版翻訳課長: デレック・リン・ウェスマン

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩5-8-6/「末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター」電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会
〒106-0047 東京都港区南麻布5-10-30
電話 03-3440-2351

定 価 年間予約/海外予約 830円(送料共)
普通号/大会号 80円

「リアホナ」へのご投稿およびご質問は、英語版ホームページ liahona.lds.org からお送りください。また、下記の連絡先でも受け付けています。

Rm. 2420, 50 E. North Temple St.,
Salt Lake City, UT 84150-0024, USA
電子メール: liahona@ldschurch.org

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。

アルバニア語、アルメニア語、ヒスラマ語、ブルガリア語、カンボジア語、セブアノ語、中国語、中国語(簡体字)、クワチア語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、英語、エストニア語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、ハンガリー語、アイスランド語、インドネシア語、イタリア語、日本語、キリバス語、韓国語、ラトビア語、リトアニア語、マダガスカル語、マーシャル語、モンゴル語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、サモア語、スロベニア語、スペイン語、スワヒリ語、スウェーデン語、タガログ語、タヒチ語、タイ語、トンガ語、ウクライナ語、ウルドゥー語、ベトナム語(発行頻度は言語により異なります。)

©2013 Intellectual Reserve, Inc. 版權所有。印刷: 日本

「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において一時的に、また非営利目的に使用する場合は複製することができます。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複製できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール——cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada:

April 2013 Vol. 37 No. 4. LIAHONA (USPS 311-480) English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA. Subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (Visa, MasterCard, American Express) may be taken by phone. (Canada Post Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send address changes to Salt Lake Distribution Center, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368.

家庭の夕べのためのアイデア

今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。

以下に幾つか例を挙げます。



フオトイスト「リーティ、ベル」

「イエス・キリストの使命と教導の業」

18 ページ——ラッセル・M・ネルソン長老が、わたしたちが做ることのできるイエス・キリストの5つの特質について分かち合っています。この特質をどのように生活に取り入れることができるかについて話し合うことを検討してみてください。救い主の生涯についての聖典の物語を読んだり、聖書のビデオを見たりするのもよいでしょう (<http://www.lds.org/bible-videos/?lang=jpn>)。主の生涯や務めについての証をし、「さらに聖くなお努めん」(『賛美歌』74番) を歌って閉会してもよいでしょう。

「真の友とは?」52 ページ——真の友とは、と尋ねることから家庭の夕べを始めてもよいでしょう。ロバート・D・ヘイルズ

長老の説明を読み、わたしたちがどのような友になるべきかについて話し合ってください。だれかが自分に真の友のように振舞ってくれたときの経験を語ることを検討してください。また、家族が人に対してより良い友となるための助けとなる特質について話し合うことを検討してください。

「神殿を祝う」62 ページ——家族と一緒に、子供たちが神殿をほめたたえた様々な方法の写真をみてください。自分たちの住んでいるところにいちばん近い神殿の写真を見せて、なぜ神殿が大切なのかについて話し合うように検討してみてください。神殿でしか、家族の結び固めができないことを強調してください。「家族は永遠に」(65 ページ) を歌って終わってもよいでしょう。

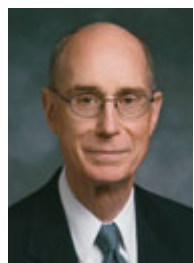
あなたの言語で

languages.lds.org で、「リアホナ」や、教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。

今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

イエス・キリスト, 4, 18, 26	純潔, 42	バプテスマ, 30
祈り, 18, 45	贖罪, 18, 26, 45	標準, 42, 45
ウッドラフ, ウィルフォード, 81	神権, 44	復活, 4, 12, 26
教え, 8, 9, 30	信仰, 48	奉仕, 44, 70
改心, 34, 54, 56, 60	神殿, 34, 62	模範, 48
家族, 30, 65	神殿活動, 7, 38, 64, 65, 80	モルモン書, 46
回復, 66	スミス, ジョセフ, 66	友情, 9, 52, 54
儀式, 18	聖餐, 18	優先順位, 40
犠牲, 40	聖霊, 10, 36	喜び, 37
希望, 12	聖約, 7	靈感, 36, 38
教会組織, 61	総大会, 8, 37	
啓示, 10, 46	伝道活動, 34, 39, 48, 52, 54, 60	
死, 4, 12, 39	粘り強さ, 59	
従順, 40, 42, 56		



大管長会第一顧問
ヘンリー・B・
アイリング管長

主は よみがえられました

イエス・キリストが実際に復活されたことについての証は、希望と決意の源です。これは神のすべての子供に当てはまることです。わたしも1969年6月のある暑い日、母を亡くしたときにこのことを経験しました。その後もずっとそうですし、それは母と再会する時まで続くでしょう。

一時的な別れによる悲しみはすぐに幸福な気持ちに取って代わりました。それは単に喜びの再会ができるという望み以上のものでした。主が預言者を通してとても多くのことを明らかにしてくださっていて、復活が真実であることを聖霊がわたしに確認してくださっているのです。聖められ、復活した愛する人たちとの再会がどのようなものであるかを、わたしは心に思い描くことができます。

「これらは、正しい者の復活の時に出て来る者である。……

これらは、神とキリストが万民の審判者として住まわれる、天にその名が記されている者である。

これらは、自らの血を流すことによってこの完全な贖罪を成し遂げられた、新しい聖約の仲保者イエスを通じて完全な者とされた正しい人々である。」(教義と聖約 76:65, 68 - 69)

イエス・キリストが死の縄目を断ってくださったので、この世に生を受けた天の御父のすべての子供が、決して死ぬことのない体をまとして復活します。ですから、その栄えある真理についてのわたしや皆さんの証には、愛する家族や友人を失った悲しみをぬぐい去り、喜びに満ちた期待と固い決意をもたらす力があるのです。

主はすべての人に復活の賜物たまものを与えてくださっており、復活によってわたしたちの霊は肉体的に不完全なところのない体に宿ります(アルマ 11:42 - 44 参照)。わたしの母は、若い、光り輝いた姿で現れ、年齢や長年にわたる肉体的な苦しみの影響は取り去られていることでしょう。そのよう

な復活が母に、そしてわたしたちに、賜物として授けられるのです。

しかし、永遠に母とともにいたいと切に望むわたしたちは、そのような交わりを持つ資格を得るために、そして御父とその愛する復活された御子が栄光のうちに住んでおられる場所に住むために、ふさわしい選択を重ねていく必要があります。御二方の住んでおられる場所こそ、家族としての生活を永遠に続けられる唯一の場所なのです。この真理についての証は、生活の中でイエス・キリストの贖罪の効力を受けることで日の栄えの王国の最高の階級を得られるように、愛する人たちとともにふさわしい者になろうというわたしの決意を強めてきてくれました(教義と聖約 76:70 参照)。

主は聖餐せいさんの祈りの中で、永遠の命を目指すこの旅においてわたしや皆さんを助ける道しるべを与えてくださっています。毎回の聖餐会で、わたしたちはバプテスマの聖約を更新するように招かれます。

わたしたちはいつも救い主を覚えることを約束します。主の犠牲の象徴は、主が払われた代価の大きさをわたしたちが理解できるように助けてくれます。主は死の縄目を断つために、また、わたしたちに憐れみあわれみを与えるため、もしわたしたちが悔い改めを選ばずすべての罪が赦されるようにするために、大きな代価を払ってくださいました。

わたしたちは主の戒めを守ることを約束します。聖文や生ける預言者の言葉を読むときや、聖餐会で靈感によって語る話者の言葉に耳を傾けるとき、わたしたちは自分が主の戒めを守ると聖約していることを思い起こします。聖霊はわたしたちがその日に最も守る必要のある戒めを、思いと心に浮かばせてくださいます。

聖餐の祈りの中で、神はわたしたちとともにいるよう聖霊を送ると約束してくださっています(モロナイ 4:3; 5:2; 教義と聖約 20:77, 79 参照)。わたしはその短い時間に神





このメッセージから 教える

わたしたちは「すべての聖文を自分たちに当てはめて、それが自分たちの利益となり、知識となるようにする」べきです（1ニーファイ19：23）。教義と聖約第20章76－79節にある聖餐の祈りを読むとよいでしょう。聖餐の祈りについてのアイリング管長の教えを読んだ後、これらの祈りがどのような形で自分たちの生活を導き、天の御父とイエス・キリストのもとに戻ってともに住めるように助けてくれるかについて考えるように、あなたが教えている人たちに勧めるとよいでしょう。

が個人面接のようなものをしてくださることを知りました。自分のなした神に喜ばれる行い、悔い改めと赦しがわたしに必要であること、神が御自分に代わって仕えるようにわたしに望んでおられる人々の名前や顔に、わたしの注意を向けてくださるのです。

長年にわたってその経験を繰り返すことで、

希望が慈愛の気持ちに変わり、救い主の贖罪と復活によって憐れみの扉が自分に対して開かれているという確信がもたらされてきました。

イエスが復活されたキリスト、わたしたちの救い主、完全な模範であり永遠の命への導き手であられることを証します。■

神との個人面接

わ たたちは聖餐の祈りに耳を傾げるときに、神との個人面接を受けているように感じることができるとアイリング管長は教えています。アイリング管長は以下の3つの分野について考えます。これらの質問を日記に書き、今月、毎週日曜日にこれらの質問について深く考えるとよいでしょう。深く考え、聖霊から導きを

受けたときには、それについても日記に書くといよいでしょう。

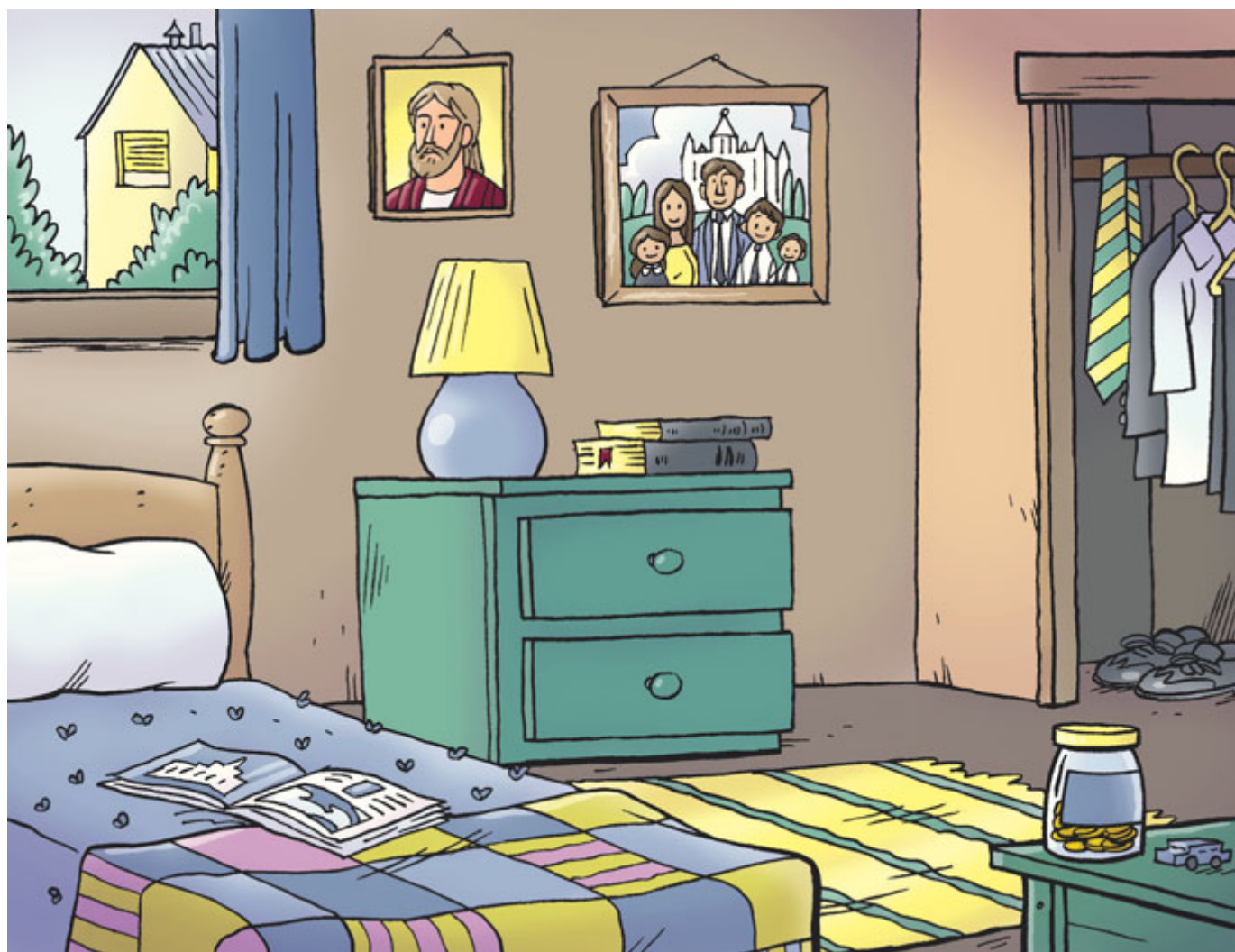
- 神に喜ばれるどんな行いをしたのだろうか。
- どんなことについて悔い改め、赦しを求めらなければならないのだろうか。
- だれに仕えるように神は望んでおられるのだろうか。

こども

いつも イエスさまを 思い出す

ジェコブは、「いつも（すくいぬしを）おぼえ」ていられるように どりよく しています（教義と聖約 20:77）。ジェコブの へやを 見回して、いつも

イエスさまを 思い出すのに やくだつものを見つけてください。



祈りをもってこの資料を学び、必要に応じて訪問先の姉妹と話し合ってください。
質問を使うことによって、訪問先の姉妹を強め、あなた自身の生活の中で
扶助協会を生かすようにしてください。詳しくは reliefsociety.lds.org [英語] をご覧ください。

神殿の聖約

「いつの日か永遠の家族として
天の御父のみもとに戻れる
ようにし、高い所から祝福と力を授
けてくれる神殿の救いの儀式には、
あらゆる犠牲と努力を注ぐ価値が
あ[り]ます」¹と、トーマス・S・モン
ソン大管長は述べています。もし
まだ神殿に参入したことがなけれ
ば、以下を行うことによって、聖なる
神殿の儀式を受けるための準備を
することができます。

- 天の御父とイエス・キリスト、
聖霊を信じる。
- イエス・キリストの贖罪と回復
された福音に対する証を育む。^{しよくざい}
- 生ける預言者を支持し、その
言葉に従う。^{じゆうふん}
- 什分の一を納め、道徳的に清く
あり、正直であり、知恵の言葉
を守り、教会の教えに添った生
活をすることにより、神殿推薦
状を受けるにふさわしくなる。
- 主の王国の建設を助けるために
時間、才能、持ち物をささげる。
- 家族歴史活動を行う。²



モンソン大管長はさらに次のよう
に教えています。「〔神殿〕で交わ
した聖約を思い起こすとき、あらゆ
る試練に耐え、誘惑を克服する力を
得ます。」³

聖文から

教義と聖約 14 : 7 ; 25 : 13 ; 109 : 22

注

1. トーマス・S・モンソン「聖なる神殿——世界に輝くかがり火」『リアホナ』2011年5月号、92
2. 『わたしの王国の娘：扶助協会の歴史と業』21 参照
3. トーマス・S・モンソン「リアホナ」2011年5月号、93
4. 『わたしの王国の娘』29
5. サラ・リッチ『わたしの王国の娘』30 で引用



信仰・家族・扶助

わたしたちの歴史から

「ノーブー神殿が奉献されると、
5千人以上の大勢の聖徒が次々に
神殿を訪れました。……

神殿の聖約からもたらされた強さ、
力、祝福は、〔西部への〕旅の間、寒さ、
暑さ、飢え、貧困、病気、事故そして
死を経験したときに末日聖徒の支え
となりました。」⁴

多くの扶助協会の姉妹と同じよう
に、サラ・リッチ姉妹は神殿ワーカー
として奉仕しました。リッチ姉妹は
自分の経験について次のように述べ
ています。「もしも主の御霊……に
より神殿で授かった信仰と知識がな
かったなら、……この旅はまるで暗闇
の中に飛び込むようなもの……だっ
たでしょう。しかし、わたしたちは天の
御父を信じる信仰を抱き、……自分
たちは……神の選ばれた民であると
感じていました。悲しみではなく、自分
たちの解放の日が来たことに喜びを
感じていました。」⁵

西部への旅は忠実な末日聖徒の女
性たちにとって「暗闇の中に飛び込む
ようなもの」ではありませんでした。
彼女たちは神殿の聖約に支えられて
いたのです。

何ができるでしょうか？

1. 定期的に神殿で礼拝していますか。
2. 神殿の祝福を受けるように担当の
姉妹たちに勧めていますか。

ともに大会の説教を研究する

大会の復習の方法を変えることで、福音について家族でとても有意義な話し合いができるようになりました。

グレッグ・バティー

何年も前から、家族で記事を一つずつ読み、大会号を読破することを楽しんできました。始めたころはただテーブルの周りに集まって、順番に1段落ずつ声に出して読んでいました。でも、立ち止まってじっくりと趣旨をつかむこともせず、読み終えるために読んでいることに気づきました。

読んでいるところからより多くを得るために、妻とわたしは大会号を家族の人数分買い、次の総大会までにすべて読み終えるには毎週説教を幾つ学べばよいかを計画しました。説教を一つ読む週もあれば二つ読む週もありましたが、全員が同じ説教を研究し、気に入ったところに印を付けることにしました。その後、家庭の夕べで、印を付けた箇所から互いに教え合うのです。

子供たちの質問をきっかけに話し合いが始まることがよくありました。妻やわたしが、自分たちの研究したことの中から問いを投げかけることもありました。そうした質問に対して、10代の子供たちがセミナーで、教会で、または個人学習で学んだことを紹介しながら自分の答えを説明する

のを聞くのは、わたしたちにとって貴重な機会でした。日ごろからとてくつろいだ和やかな雰囲気^{あかし}で、互いの形式張らない証^{あかし}を聞くすばらしい方法となりました。

やがて朝の聖文研究も同じような感じになっていることに気づきました。読んだ節について、そして身の周りで起きていることにその節がどのように当てはまるかについて話し合っていると、あっという間に時間が過ぎてしまい、ほんの2、3節進むのがやっとの日もありました。

今では我が家の朝はそれぞれの務めに出かける前の、会話と笑いと一体感にあふれた時間となっています。毎日ともに研究し祈るよ^うにという預言者の勧告について、わたしたちには強い証があります。わたしたちは互いから学び、強め合う家族へと変わりました。これはすべて、総大会からもっと多くのものを得たいと望んだ結果です。■

グレッグ・バティー兄弟はアメリカ合衆国ユタ州に住んでいます。



大会のメッセージを研究し、役立てる

「この大会で聞いた話は、『エンサイン』(Ensign)と『リアホナ』の5月号に掲載されます。メッセージを研究し、その教えについて深く考え、皆さんの生活に役立てるよう心から願います。」

トーマス・S・モンソン大管長
「閉会に当たり」
『リアホナ』2010年5月号、113



フォトイラスト/オフリー・スターティン © 50



良い友達の大切さ

友達はわたしたちの行いに大きな影響を及ぼします。青少年にとっては特にそうです。「彼らはあなたの思いや行いに影響を与え、あなたがどんな人物になるのかを決定づける助けにさえなります。」¹ そして良い友達を選ぶと、「そのような友達はあなたにとって大きな力と祝福になります。……あなたがより善い人物になるよう助けを与え、イエス・キリストの福音に従った生活を送りやすくしてくれます。」²

今月号の52-53ページで、中央若い女性会長のイレイン・S・ダルトン姉妹は、良い友達を求めることと良い友達になることの大切さについて教えています。「だれかの福利を求めることは真の友情の本質です」とダルトン姉妹は言っています。

これらの原則に基づいて友情を築くことで、青少年は単にソーシャルネットワークワーキングサイトで「友達」になるだけではない永続する関係を築き、人とのつきあい方を身に付けることができます。親は、良い友達になることの大切さと、福音に従って生活するように励ましてくれる友達を選ぶことの大切さを子供が理解できるように助けることができます。以下の提案が役立つでしょう。

青少年に教えるための提案

- 聖典に登場する良い友達の例を家族で探します。どのような特質がそれらの篤い友情をもたら

したのか話し合います。ダビデとヨナタン(サムエル上18-23章参照)、ルツとナオミ(ルツ1-2章参照)、アルマとモーサヤの息子たち(モーサヤ27-28章; アルマ17-20章参照)について考えてください。³

- 『若人の強さのために』の、友達についての項を読みます。友情が自分の人生にどのような影響を及ぼしたかを10代の子供に話します。友達にどのような影響を与え、友達からどのような影響を受けてきたかを子供に話してもらいます。
- 今月号に掲載されているダルトン姉妹の記事を読みます。ダルトン姉妹の娘のエミが良い友達を求めるために立てた目標について話します。どのような友達を求めたいか、どのような友達になりたいかについて子供が目標を立てるのを助けます。
- 家庭の夕べで、友情を築くためのアイデアを紹介するとよいでしょう。例として、「良い友達を持つには、あなた自身が良い友達になってください。人々に心からの関心を示し、ほほえみかけ、あなたが心にかけていることを彼らに伝えてください。親切に尊敬の念をもってすべての人に接し、周囲の人を裁いたり、批判したりしないようにしてください。」⁴

友情に関する聖句

箴言 17:17; 18:24

伝道 4:9-10

マタイ 25:34-40

ルカ 22:32

モーサヤ 18:8-9

子供に教えるための提案

- 友達になるとは、人を助けることでもあります。『リアホナ』2009年3月号に掲載されている「立ち上がろう……カレブのために」を読み、出会うすべての人にどのような方法で親切にできるかについて子供と話します。
- あらゆる状況において、わたしたちは自分がどのような友達でいるかを決めなければなりません。「イエス様のように」⁵を一緒に歌い、その後、様々な状況でどうすれば救い主のように良い友達でいることを選べるかについて子供と話します。■

注

1. 『若人の強さのために』(小冊子, 2011年) 16
2. 『若人の強さのために』 16
3. ジェフリー・R・ホランド, "Real Friendship," *New Era*, 1998年6月号, 62-66参照
4. 『若人の強さのために』 16
5. 『イエス様のように』『子供の歌集』 40

聖霊は 慰め、鼓舞し、証してくださる

聖霊^{たまもの}の賜物は、わたしたちがこの世で受けることのできる最も大いなる祝福の一つです。聖霊はわたしたちを慰め、鼓舞し、警告し、清め、導いてくださるからです。聖霊はわたしたちを「希望と完全な愛」で満たすことがおできになります（モロナイ 8：26）。「すべてのことの真理」を教えてください（モロナイ 10：5）。わたしたちは聖霊を通して神から啓示と霊的な賜物を受けます。何より重要なこととして、わたしたちは聖霊を通して天の御父とイエス・キリストについての証を受けます。

バプテスマを受ける前でも、時々聖霊を感じるができます。しかし、バプテスマの後に聖霊の賜物を受けることによってのみ、ふさわしい状態であれば聖霊を常に伴侶^{はんりよ}とすることが

できます。この賜物は、メルキゼデク神権者による^{あんしゅ}授けによって授けられます（使徒 19：6；教義と聖約 33：15 参照）。その後、毎週安息日に聖餐^{せいさん}を受けるときにバプテスマの聖約を更新し、それによって「いつも御子の御霊を受けられる」という主の祝福にあずかることができます（教義と聖約 20：77）。

しばしば御霊と呼ばれる聖霊は、神会の第三の御方です。預言者ジョセフ・スミスは次のように教えています。「御父は人間の体と同じように触れることのできる骨肉の体を持っておられる。御子も同様である。しかし、聖霊は骨肉の体を持たず、霊の御方であられる。もしそうでなければ、聖霊はわたしたちの内にとどまり得ない。」（教義と聖約 130：22）

「主の御霊は清くない宮にはとどま

らないので」（ヒラマン 4：24）、わたしたちは聖霊を伴侶とするにふさわしい状態でいなければなりません。そのためには特に、徳高い思いを抱き、誠実に生活し、努めて戒めを守る必要があります。■

詳しくは、2ニーファイ 31：13、17；32：5；3ニーファイ 27：20；モロナイ 10：5-8；ジョセフ・スミス—歴史 1：70 を参照してください。

この賜物を授かっていることを当たり前には思ってはいけません

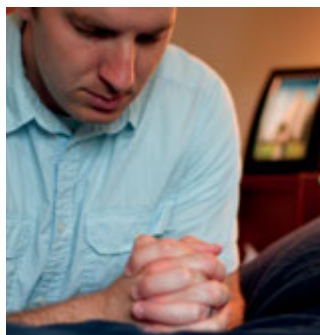
「すべての賜物と同じようにこの賜物も、受けた後、活用しなければなりません。神権者の手が頭に置かれ、皆さんを教会の会員として確認したとき、『聖霊を受けなさい』という言葉聞いたことでしょう。これは聖霊が無条件に、常に伴侶となるという意味ではありません。聖文には、主の御霊は『ながく人の中にとどまらない』という警告があります（創世 6：3）。教会員として確認されるとき、聖霊を伴侶とする『権利』を与えられます。しかし、この権利は従順とふさわしさによって保ていかなければならないものです。」

十二使徒定員会 ジョセフ・B・ワースリン長老（1917-2008年）
「言い尽くせない賜物」『リアホナ』2003年5月号、26



聖霊の賜物を受けた後、
聖霊の影響力を
生活に招き入れるために
様々なことが行えます。

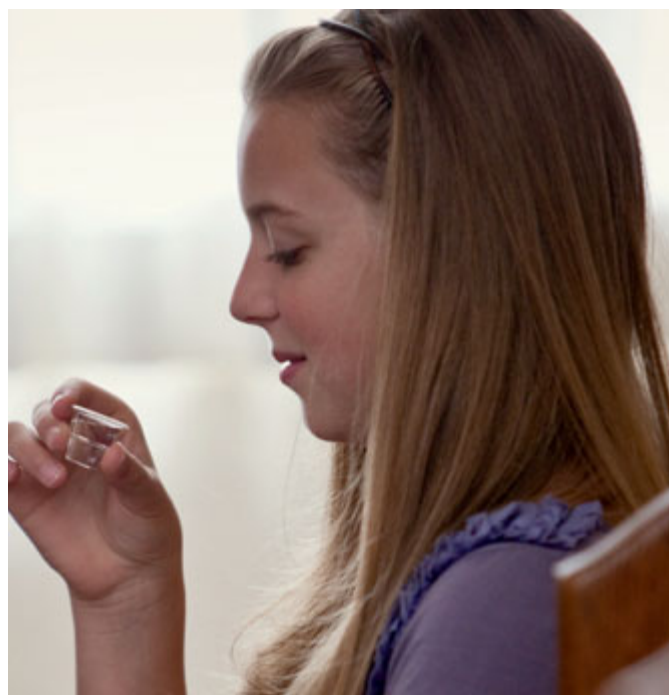
祈る。



聖文を研究する。



ふさわしい状態で聖餐を受ける。



フォトイラスト/クリスティーナ・スミス、イヴ・タフト
コーディネート/ペルマシユ・ライアー



神殿で礼拝する。



健全なメディアを見、清い言葉を使い、徳高い思いを抱く。

死 と 命

復活についての開拓者の観点

教会初期の改宗者たちは、聖徒とともに集まるために合衆国西部へ旅しました。

道中、死を目の当たりにすることがありましたが、回復された福音を信じる彼らの新しい信仰が支えとなりました。以下に紹介するのは、開拓者の記録からの抜粋と、最初の5人の大管長による、慰めをもたらしてくれる教えです。

開拓者の記録からは復活に対する聖徒の希望が見て取れます。

1866年にニューヨークからユタへ旅したあるスキャンジナビア人の末日聖徒である父親の話。彼は旅の途中で幼い息子を亡くした。

「友人の助けを借りて小さな墓が掘られ、遺体が納められた。子供は伝染病で亡くなったが、死を悼んで集まる者も正式な葬儀もなく、花も、霊的な歌も、追悼の言葉もなかった。それでも、子供を亡くした父親は出発の前に母国語（デンマーク語）で次のような短い奉獻の祈りを述べた。……

『天のお父様、あなたはわたしにこの小さな宝物、この最愛の息子を授けてくださり、今、この子をお召しになりました。この子の亡骸が、復活の朝までこの場所で安らかに眠っているようにしてください。御心が行われますように。アーメン。』

そして地から立ち上がり、別れの言葉を告げた。『さようなら、わたしのいとしいハンス、わたしの美しい息子よ。』そして頭を垂れ、心を痛めながらも、雄々しく野営地に向かって歩いて行った。』¹

ジョセフ・スミス大管長（1805 - 1844年）

「夫や妻、父親、母親、子供、愛する親族と死別して嘆き悲しむ者にとって、この知識は何と大きな慰めを与えることでしょうか。すなわち、地上の幕屋は横たえられて朽ちても、彼らは再びよみがえり、不死不滅の栄光をもってとこしえの燃える火の中に住むのです。そこにはもはや悲しみも、苦しみも、死もなく、彼らは神の相続人となり、イエス・キリストと共同の相続人となるのです。』²



ジョセフ・ワトソン・ヤング(1828 - 1873年)。ブリガム・ヤングのおいで、1853年にイングランドから合衆国へ旅した。

「真夜中にほんの数人が寂しげに立ち会い、仲間を静かな海の深みに葬るのは、悲しい光景だった。……親族は乗船しておらず、一人の仲間の使用人のほか、彼を悼む者は特にいなかった。人間として抱くはかない望みは、瞬時に砕かれてしまうのだ。この若者はシオンに加わるためにすべてを捨て、心は未来への期待に熱く燃えていた。自分の体を飢えた波に任せることになるとは思っていなかっただろう。とはいえ、彼は希望のない者のように死んだのではなかった。彼は神と和解しており、正しい者の朝に栄えある復活にあずかるという確信に満ちていたからである。」³



右——
ブリガム・ヤング
大管長。
上——
ジョセフ・ワトソン・
ヤング

ブリガム・ヤング大管長(1801 - 1877年)

「わたしたちが死と呼ぶ谷と陰は何と暗いことでしょうか。死すべき体に関して述べると、現在の状態が過ぎて空虚な状態へ行くことは実に不思議なことです。この谷は何と暗いことでしょうか。この道は何と謎めいていることでしょうか。わたしたちは独りでこの道を歩かなければなりません。友人と教会員の皆さん、ここでわたしは申し上げたいことがあります。もしわたしたちが物事のあるがままの姿を目にして、それらを見て理解するならば、この暗い陰と谷は取るに足りないものであって、わたしたちは辺りを眺め、陰と谷に目を向け、それを渡ったときに、これはまことにわたしの生涯で最も素晴らしいことだと考えることでしょう。なぜならば、悲しみ、嘆き、悲哀、苦痛、悲惨、痛み、苦悶、落胆に満ちた状態が過ぎ去って、肉体を持たずに経験できる最大の喜びを味わう状態に移ったからです。」⁴





ダン・ジョーンズ(1811 - 1862年)。1849年にウィリアムズ夫人やほかの教会員とともにアメリカ合衆国へ航海したウェールズ人改宗者。

「〔ウェールズの〕トレガロンの近く、アニサボントのウィリアムズ夫人は急速に病状が悪化していて、もう長くはないという兆候が見えます。……夫人は、これまでに受けた最高の栄誉は神の御子のまことの教会の会員になれたことであり、来世に関して胸に少しの恐れもなく、今、自分の宗教がかつてなかったほど大きな力になっていると言いました。……自分とともにより良い復活にあずかるために、死に至るまで忠実であり続けるようにと、夫人は息子たちに厳かに助言しました。……夫人は一晩中意識がはっきりしていて、翌朝4時15分、口もとにほほえみを残して、彼女の霊は安らかに旅立ちました。」⁵



右——
ジョン・テラー
大管長。
上——
ダン・ジョーンズ

ジョン・テラー大管長(1808 - 1887年)

「愛する友人たちを亡くして悲しみに暮れる人々にとって、再度その友人たちと交わることができるとの知識はどれほど大きな慰めでしょうか。啓示された真理の原則に従って生活するすべての人々にとって、特にこの世での生涯が終わりに近づいている人々、この世の労苦と酷熱に耐えてきた人々にとって、程なくわたしたちは墓という囲いを打ち破り、生ける不滅の人としてよみがえり、信頼に足る者であると証明された友人たちとの交わりを享受するという知識は、いかに大きな励みとなることでしょうか。もはや死の苦しみにさいなまれることはなく、御父がお与えになった業を終えるだけなのです。」⁶

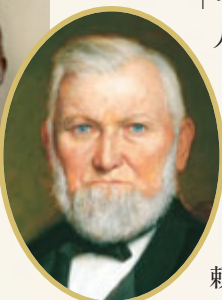


アンドリュー・ジェンソン (1850 - 1941 年)。1866 年にアンドリュー・H・スコット幌馬車隊の一人としてアメリカ合衆国ネブラスカからユタまで旅したデンマーク人移民。

「荒れ野で彼ら〔一緒に旅してきた仲間たち〕の遺体が母なる大地に葬られるのを目にしたとき、だれもが涙を流すか、泣きたい気分だった。愛する人をこのような形で埋葬することを思うと、ほんとうに悲しく、つらかった。友人や親族は、亡くなった者が眠る地を再び訪れることができるという望みもないまま、直ちに去らなければならないのだ。……しかし、第一の復活の朝にガブリエルがラッパを鳴らすとき、彼らの墓は見いだされるだろう。亡くなったこれらの人々は、シオンに向かって進んでいる途中で、その体をこのようにして横たえた。彼らが目的地に着く前に、主は彼らを見もとへ呼ばれた。彼らは肉体にあってシオンを見ることは許されなかったが、後に栄光と喜びを受けるだろう。



右 —
ウィルフォード・
ウッドラフ大管長。
上 —
アンドリュー・
ジェンソン



彼らは神に従いその戒めを守ろうと努めていたときに亡くなったのであり、〔主〕にあって死ぬ者は幸いである。』⁷

ウィルフォード・ウッドラフ大管長 (1807 - 1898 年)

「キリストの福音がなければ、死による別離は、人が思いをはせるであろう主題の中で最も重苦しいものの一つです。しかし福音を手にして復活の原則を学ばないや、死がもたらす重苦しきや悲しみ苦しきは、ほとんど取り去られます。……啓発された人が死者の復活について知るとき、その人は安心して頼れる霊の基を得るのです。これが今日こんにちの末日聖徒の状態です。わたしたちはこの件に関して真理を知っており、暗闇の中に身を置いているのではありません。それを明らかにしてくださったのは神であり、わたしたちは死者の復活の原則と、福音によって命と不死とが明らかに示されていることを、確かに知っているのです。』⁸



読みやすいように、原文 (英語) は一部のつづり、句読点、大文字を標準的な用法にしています。

注

1. ロバート・アベソン, "Leaves from the Journal

of a Boy Emigrant," *Deseret News*, 1921 年 3 月 12 日付, 4:7. [lds.org/churchhistory/library/pioneercompanysearch](https://www.lds.org/churchhistory/library/pioneercompanysearch) で閲覧できます
2. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』53
3. ジョセフ・W・ヤング, 日記, 1853 年 3 月 6 日,

教会歴史図書館, ユタ州ソルトレーク・シティ。 mormonmigration.lib.byu.edu で閲覧できます
4. 『歴代大管長の教え——プリガム・ヤング』299 参照
5. "A Letter from Capt. D. Jones to the Editor

挿入 — 「ウィルフォード・ウッドラフ」H・E・ヒーターソン画 © 2015 アンドリュー・ジェンソンの写真 / ハロルド・ハワエル・ジェンソン, 教会歴史博物館の厚意により掲載。ロレン・スノウ / ルイス・ラッパ画, 教会歴史博物館の厚意により掲載。



ウィリアム・ドライバー (1837 - 1920 年)。1866 年にイングランドからアメリカ合衆国ニューヨークに旅した開拓者。

「愛する我が子ウィリーは夜通し非常に具合が悪く、午前 7 時 30 分、苦しみから解放された。神が息子のいとしい霊を祝福してください。息子はどれほど苦しんだことだろう。息子の死は、イングランド・サリー州ワンズワースのセントアンズヒルでポールター氏の荷馬車が壊れたことによるものだった。ああ、この大きな苦難を、わたしはどれほど嘆き悲しんでいることだろう。おお、主よ、あなたの力によって、このことをあなたの御手によるものとして耐えられるようにお助けください。もっと気高く、忠実に



右——
ロレンゾ・スノー
大管長。
上——
ウィリアム・
ドライバー



あなたに仕えられるように力をお与えください。より幸福な、より良い世界で息子に、そしてあの子の愛する妹エリザベス・メリーアンに会うための準備を、この人生で行えますように。正しい者の復活のときに、わたしがそこにいて彼らに会えますように。」⁹

ロレンゾ・スノー大管長 (1814 - 1901 年)

「次の世で、わたしたちの体は栄光を受け、病気や死を経験することはありません。復活し、栄光に満ちた状態にある人ほど美しいものはありません。この状態にあって、妻や子供や友人とともにいること以上に素晴らしいことはありません。」¹⁰ ■

of Udgorn Seion.” ロナルド・D・デニス, *The Call of Zion: The Story of the First Welsh Mormon Emigration, vol. 2* (1987 年), 164 - 165. mormonmigration.lib.byu.edu で閲覧できます

6. 『歴代大管長の教え——ジョン・テラー』50 - 51

7. アンドリュー・ジェンソン, 日記, 1866 年 8 月 20 日。 *Journal History of The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints*, 1866 年 10 月 8 日で引用, 教会歴史図書館, ユタ州ソルトレーク・シティー, 6. lds.org/churchhistory/library/pioneer-companysearch で閲覧できます

8. 『歴代大管長の教え: ウィルフォード・ウッドラ

フ』81 - 82

9. フランク・ドライバー・リーブ編, *London to Salt Lake City in 1866: The Diary of William Driver* (1942 年), 42. mormonmigration.lib.byu.edu で閲覧できます

10. ロレンゾ・スノー, *Conference Report*, 1900 年 10 月, 63



十二使徒定員会
ラッセル・M・
ネルソン長老

イエス・キリスト の使命と教導の業

わたしたちがイエスを敬っているという最良の証拠は、
イエスに倣うことです。

わ たしは「全世界におけるキリストの名の特別な証人」の一人として（教義と聖約 107：23）、キリストのことを教え、証するときに最善の奉仕をしていることになると思っています。まず、イエスがかつてパリサイ人に問いかげられた同じ質問をしてよいでしょう。「あなたがたはキリストをどう思うか。だれの子なのか。」（マタイ 22：42）

政府や様々な宗教団体の指導者に会うときに、しばしばこの質問がわたしの心にわいてきます。「イエスは偉大な教師であった」と認める人もいれば、「イエスは預言者であった」と言う人もいます。イエスをまったく知らない人さえもいます。それについてわたしたちは少しも驚きません。というのも、わたしたちが知っている回復された福音の真理を知っている人は比較的少ないからです。キリスト教徒であると主張する人々の中で、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員はごく少数にすぎません。

今日のわたしたちの状態については、何世紀も前にニーファイが予見していました。

「そして、神の小羊の教会が見えたが、この教会に属している者の数は……少なかった。それでも、神の聖徒である小羊の教会の人々もまた、地の全面にいるのが見えた。しかし、地の面における彼らの占める場所は……小さかった。……」

そしてわたしニーファイは、神の小羊の力が、地の全面に散っている小羊の教会の聖徒たち、すなわち主の聖約の民のうえに下るのを見た。彼らは義と神の力とをもって、大いなる栄光のうちに武装していた。」（1 ニーファイ 14：12、14）

その義、その力、その栄光、実にわたしたちが受けている多くの祝福のすべては、主イエス・キリストを知り、イエス・キリストに従い、イエス・キリストに感謝し、イエス・キリストを愛することによって与えられているのです。



救い主は、比較的短いこの世の生涯の間に、きわめて重要な二つの目的を達成されました。一つは、救い主の「業であり、〔救い主の〕栄光」、すなわち「人の不死不滅と永遠の命をもたらすこと」でした（モーセ1:39）。もう一つについては、救い主が簡潔にこう述べておられます。「わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするように、わたしは手本を示したのだ。」（ヨハネ13:15）

救い主の第1の目的は贖罪であると、わたしたちは知っています。これが死すべき世における救い主の崇高な使命でした。復活した主は、古代のアメリカの民に向かって御自分の使命をこう述べておられます。

「父がわたしを遣わされたので、わたしは父の御心を行うために世に来た。

父は、わたしが十字架に上げられるようにと、わたしを遣わされた。十字架に上げられた後で、わたしはすべての人をわたしのものに引き寄せた。」（3 ニーファイ 27:13 - 14）

主は説教を続け、わたしたちの模範になるという第2の目的を明らかにされました。「あなたがたは、……行わなければならないことを知っている。わたしがするのを見たその行いを、あなたがたもしなさい。」（3 ニーファイ 27:21）

主の第1の目的を、わたしは主の**使命**と定義してきました。主の第2の目的を、主の**教導の業**と呼びたいと思います。主の生涯のこれら二つの要素、すなわち、主の使命と主の教導の業について確認しましょう。

イエス・キリストの使命——贖罪

主の使命は贖罪です。その使命を果たすことがおできになったのはただ御一方、主だけでした。死すべき状態の母と不死不滅の御父からお生まれになった主は、自発的に御自分の命を捨て、再びそれを得ることができた唯一の御方です（ヨハネ10:14 - 18 参照）。主の贖罪がもたらした栄えある結果は無限かつ永遠です。主は死のとげを抜き、墓の悲しみを一時的なものとしてされました（1 コリント

15:54 - 55 参照）。贖罪に対する主の責任は、創造と墮落の前においてさえ知られていました。それは全人類の復活と不死不滅のために備えられただけでなく、主によって定められた条件に基づいて、わたしたちが罪の赦しを得られるようにするものでもありました。したがって、主の贖罪は、わたしたちが主と、また家族と永遠に一つになれるようにする道を開いたのです。この行く末を、わたしたちは永遠の命、すなわち神が人にお与えになる最も大いなる賜物であると考えています（教義と聖約14:7 参照）。

贖罪を成し遂げることができた者はほかにだれ一人いません。最大の富と権力を得ていた者でさえ、人をだれも救えませんでした。自分自身さえも救えませんが（マタイ19:24 - 26 参照）。また、ほかの人の永遠の救いのために血を流すことを求められる者、あるいはそれを許される者はほかにだれ一人いません。イエスは「ただ一度」それをされました（ヘブル10:10）。

贖罪は新約の時代に成し遂げられましたが、旧約の時代の数々の出来事とその重要性を度々予告しました。アダムとエバは、「御父の……独り子の犠牲のひながた」として犠牲をささげるように命じられました（モーセ5:7）。どのようにしてでしょうか。血を流すことによつてです。彼らは自分たちの経験から、「肉の命は血にある」という聖文を確認しました（レビ17:11）。

医師は、血液が臓器に流れなくなると問題が起こるということを知っています。脚に血液が流れなくなると、壊疽になる可能性があります。脳への流れが止まると、脳卒中を起こすかもしれません。血液が普通に冠状動脈を流れなくなると、心臓発作を起こすかもしれません。また、出血を止めないと、死に至ります。

アダム、エバ、またその後続く世代の人々は、動物の血を流すと必ずその命が尽きることを知りました。犠牲の儀式のためには、どのような動物でもよかったわけではありません。群れの初子で、傷のないものでなければなりません（例として、出エジプト12:5 参照）。



救い主が
全人類の
ために

血を流し始められたのは、
贖罪の苦しみが終わった
十字架上ではなく、
ゲツセマネの園でした。

「一人一人、みなたがわび、われは悔い改むる者なり」とシームス・ドブソン画 © BROOKLYN MUSEUM, BROOKLYN, NEW YORK. 挿入画——「ゲツセマネの園」S. 傑、カレル・ファン・マン・ブロン画



これらの条件は染みのない神の小羊の最終的な犠牲をも象徴していました。

アダムとエバに次のような戒めが与えられました。「したがって、あなたが行うすべてのことを御子の御名によって行いなさい。また、悔い改めて、いつまでも御子の御名によって神に呼び求めなさい。」(モーセ5:8) その日から時の中間まで、神の御子の最終的な贖罪の予型また影として動物の犠牲が続きました。

贖罪が成し遂げられたとき、その大いなる最後の犠牲はモーセの律法を成就し(アルマ34:13-14参照)、また「肉の命は血にある」(レビ17:11)と教えた、動物を犠牲にする慣習を終わらせました。イエスは、昔の犠牲の要素が贖罪にどのように含まれており、聖餐によってどのように象徴的に記念されるかを説明しておられます。命と肉と血について述べている聖句があるということにもう一度留意してください。

「イエスは彼らに言われた、『よくよく言うておく。人の子の肉を食べず、また、その血を飲まなければ、あなたがたの内に命はない。

わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者には、永遠の命があり、わたしはその人を終りの日によみがえらせるであろう。』」(ヨハネ6:53-54)

イエス・キリストの贖罪のおかげで、全人類、まことにそれを望むすべての者が贖いを受けます。救い主が全人類のために血を流し始められたのは、十字架上ではなく、ゲツセマネの園でした。その場所で、イエス・キリストは命あるすべての者の罪の重荷を御自分の身に引き受けられたのです。その重荷を負って、イエス・キリストはあらゆる毛穴から血を流されました(教義と聖約19:18参照)。贖罪の苦しみはカルバリの十字架上で終わりました。

預言者ジョセフ・スミスは、贖罪の重要性について要約し、次のように述べています。「わたしたちの宗教の基本原則は、使徒と預言者たちがイエス・キリストについて立てた証です。すなわち主が亡くなり、葬られ、3日目に再びよみがえって、天に昇られたことです。わたしたちの宗教に関するほかのすべての事柄は、それに付随するものにすぎません。」¹

その権能と深い感謝の念をもって、わたしもイエス・キリストのことを教え、証します。

イエス・キリストの教導の業——模範

現世における主の第2の遠大な目的は、わたしたちのために模範を示すことでした。主は模範的な生活によって現世

の教導の業を進められました。それには主の教え、たとえ、説教が含まれています。人の子らに対する主の奇跡、愛にあふれた優しさと寛容が含まれています(1ニーファイ19:9参照)。思いやりをもって神権の権能を行使することが含まれています。主が罪を非難されたとき(ローマ8:3参照)や、両替人たちの台をひっくり返されたとき(マタイ21:12参照)の義憤が含まれています。また、主の心痛が含まれています。主は御自分の民からあざけられ、鞭打たれ、拒まれました(モーサヤ15:5参照)。実に弟子の一人に裏切られ、また別の弟子によって否定されました(ヨハネ18:2-3, 25-27参照)。

主の教導の業における行いはすばらしいものでしたが、それは主独自のものではありませんでした。また、今もお主独自のものではありません。イエスの模範に従う人の数に制限はありません。主の預言者や使徒、また主の権能を授かった僕と言われるそのほかの人々も、同様の行いをしてきました。多くの人々が主のために迫害に耐えてきました(マタイ5:10; 3ニーファイ12:10参照)。この時代に皆さんは、大きな代価を払ってでも主の模範に倣うように熱心に努めている兄弟姉妹を知っています。

そうあるべきです。それは主がわたしたちに望んでおられることです。主は御自分の模範に従うようにわたしたちに求められました。主の願いはきわめて明快です。

- 「あなたがたはどのような人物であるべきか。……わたしのようでなければならぬ。」(3ニーファイ27:27。3ニーファイ12:48も参照)
- 「わたしについてきなさい。あなたがたを、人間をとる漁師にしてあげよう。」(マタイ4:19)
- 「わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするように、わたしは手本を示したのだ。」(ヨハネ13:15。ヨハネ14:6も参照)

これらの聖文やそのほか類似の聖文は、提案として記されているではありません。これは神聖な命令です。わたしたちは主の模範に従わなければなりません。

主に従いたいという望みを強めるために、恐らく、わたしたちが倣うことのできる主の生涯における5つの特質について考えることができるでしょう。

愛

主の生涯からまず気づくのはどのような特質かと尋ねられたら、皆さんは愛の属性を挙げるのではないかと思います。主の思いやり、親切、慈愛、献身、赦し、憐れみ、公正などはこれに含まれます。イエスは御父と御自分の母親を愛されました(ヨハネ19:25-27参照)。御自分の家族と聖徒たちを愛されました(ヨハネ13:1; 2テサロニケ2:16参照)。罪を許容することなく罪人を愛されました(マタイ9:2; 教義と聖約24:2参照)。また、主にどのような方法で愛を示せばよいかをわたしたちに教えてくださいました。主はこう述べておられます。「もしあなたがたがわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである。」(ヨハネ14:15) その後、主の愛は無条件ではないことをよく理解させるために、こう付け加えられました。「もしわたしのいましめを守るならば、あなたがたはわたしの愛のうちにおるのである。それはわたしがわたしの父のいましめを守ったので、その愛のうちにおるのと同じである。」(ヨハネ15:10。教義と聖約95:12; 124:87も参照)

救い主の愛のもう一つのしるしは、その奉仕でした。主は御父に仕え、またともに生活し働いた人々に奉仕されました。その両面で、わたしたちは主の模範に従わなければなりません。神に仕え、「そのすべての道に歩んで、[神]を愛」さなければなりません(申命10:12。申命11:13; ヨシュア22:5; 教義と聖約20:31; 59:5も参照)。また、わたしたちは隣人に奉仕することによって愛を示さなければなりません(ガラテヤ5:13; モーサヤ4:15-16参照)。まず家族



救い主の教えを
そのほかの
すべての
教師の教えに勝るもの
とした特色は、
主が永遠の意義を持つ
真理を教えられたこと
にあります。
人生の目的を
明らかにできたのは
主ただ御一方です。

山上の講義 シェーン・テイソン 挿入画—モリス・アレンの若き後への一部、ハインリッヒ・ホルマン 挿入画—C. HARRISON CONROY CO. S. 1844年4月撮影



から始めます。子供たちが全面的に親に依存している期間、親は彼らに奉仕することで、親子をつなぐ深い愛がはぐくまれます。その後、親孝行な子供は、年老いた親に奉仕し、その愛に報いる機会があります。

儀式

救い主の模範的な生涯の第2の特質は、救い主が神聖な儀式を強調されたことです。主はこの世で教導の業に携わっておられたとき、救いの儀式の重要性を自ら明らかにされました。ヨルダン川でヨハネからバプテスマを受けられたのです。そのとき、ヨハネはどうしてですかと尋ねました。

その問いに対して、イエスはこのように説明されました。「すべての正しいことを成就するのは、われわれにふさわしいことである。」(マタイ3:15, 強調付加)。その儀式が不可欠であっただけでなく、イエスとヨハネが示す模範も不可欠でした。

後に、主は聖餐の儀式を定められました。そして、聖餐の象徴について説明し、弟子たちのためにその神聖な象徴の儀式を執行されました(マタイ26:26-28; マルコ14:22-24; ルカ24:30 参照)。

天の御父も儀式に関する指示を与えて、こう述べておられます。「あなたがたは、水と御霊^{みたま}によって再び天の王国に生まれ、血によって、すなわちわたしの独り子の血によって清くされなければならない。それは、あなたがたがすべての罪から^{きよ}聖められ、この世において永遠の命の言葉を享受し、^{きた}来るべき世において永遠の命、すなわち不死不滅の栄光を享受するためである。」(モーセ6:59)

主は、この世を去った後の教導の業として、昇栄のためにもっと重要な儀式を啓示されました(教義と聖約124:40-42 参照)。主は聖なる神殿におけるこれらの儀式を定められたのです。現在、適切に備えをしている人には、洗い、油注ぎ、エンダウメントが授けられます(教義と聖約105:12, 18, 33; 110:9; 124:39 参照)。神殿で夫や妻、先祖、また子孫と結び固めを受けることができます(教義と聖約132:19 参照)。わたしたちの主は律法と秩序の神であります(教義と聖約132:18 参照)。主はわたしたちへの主の模範の力強い部分として、儀式に焦点を当てておられます。

祈り

主の模範的な教導の業の第3の特質は、祈りです。イエスは天の御父に祈り、また祈り方についてわたしたちに教えてくださいました。わたしたちは聖霊の力を通して御子イエス・キリストの名によって永遠の父なる神に祈らなければなりません(マタイ6:9-13; 3 ニーファイ13:9-13; ジョセフ・

スミス訳マタイ6:9-15参照)。わたしは主がささげられた偉大な執り成しの祈りが大好きです。この祈りはヨハネによる福音書第17章に記されています。その中で、御子は御自分が愛している弟子たちのために御父に親しく語りかけておられます。その祈りは、有効な、思いやりのある祈りの手本です。

知識

主の模範の第4の特質は、神聖な知識を用いられたことです。前に述べたように、キリスト教徒でない多くの人が、イエスは偉大な教師であられたと認めています。事実そうでした。しかし、実際に主の教えを特徴づけているのは何でしょうか。主は工学、数学、あるいは科学に精通している教師だったのでしょうか。この世界やほかの世界の創造主として（モーセ1:33参照）、主は確かにそのとおりの御方でした。あるいは、聖文の著者として、非常にうまく文学的な構成を教えてこられました。

主の教えをそのほかのすべての教師の教えに勝るものとしたその特色は、主が永遠の意義を持つ真理を教えられたことにあります。人生の目的を明らかにできたのは主ただ御一方です。主を通してのみ、わたしたちは前世の存在と死後の可能性について学ぶことができたのです。

あるとき、主なる教師は懐疑的な聴衆に、御自分のことを証するものは3つあると告げられました。

- バプテスマのヨハネ
- イエスが行ってこられた業
- 永遠の父なる神の言葉（ヨハネ5:33-37参照）

その後、主は第4の証について述べられました。「聖文を調べなさい。あなたがたは、聖文の中に永遠の命があると思っているが、聖文は、わたしについて証をするものである。」（欽定訳ヨハネ5:39から和訳）

「思っている」という言葉は、最初はそぐわないと思われるかもしれませんが、それは主が伝えようとしておられた意味にとっては不可欠です。聴衆の多くが聖文の中に永遠の命があると実際に思っていることを、主は御存じでした。しかし、それは間違った考えでした。聖文だけでは永遠の命を得られません。もちろん、聖文の中には力がありますが、その力はイエス御自身から与えられるのです。主は「言葉」すなわち「ロゴス」です。永遠の命の力は、イエスの中にあります。「初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。」（ヨハネ1:1。2ニーファイ31:20;32:3参照）その後、イエスは懐疑論者の強情な姿勢

に対して、彼らに対する非難を続けられました。「あなたがたは、〔永遠の〕命を得るためにわたしのもとにこようともしない。」（ヨハネ5:40）

主はその崇高な知識でわたしたちを圧倒することもできましたが、そうされません。わたしたちの選択の自由を尊ばれます。わたしたちが発見の喜びを得られるようにしてください。過ちを悔い改めるようにわたしたちを促されます。神聖な律法に自発的に従うことから得られる自由を味わえるようにくださっています。そうです。主が知識を用いられるその方法は、わたしたちにとってすばらしい模範です。

忍耐

主の教導の業の第5の特質は、最後まで堪え忍ぶという主の決意です。主は御自分の務めから決して身を引かれませんでした。主はわたしたちの理解を超えた苦しみを経験されましたが、務めを放棄されませんでした。つらい試練を受けながらも、最後まで堪え忍んで御自分の務めを果たし、全人類の罪の贖いをされました。十字架から発せられた主の最後の言葉は、「すべてが終わった」でした（ヨハネ19:30）。

わたしたちの生活への応用


主の教導の業におけるこれら5つの特質は、わたしたち自身の生活に応用できるものです。実にわたしたちがイエスを敬っているという最良の証拠は、イエスに倣うことです。

わたしたちは、イエスがどのような御方であり、わたしたちのために何をしてくださったかに気づき始めると、第一の大切な戒めの論理をある程度理解することができます。「心をつくし、精神をつくし、思いをつくし、力をつくして、主なるあなたの神を愛せよ。」（マルコ12:30）言い換えれば、わたしたちは、イエスと御父を愛する気持ちをもって、すべてのことを考え、行い、語るようにしなければなりません。

「わたしはほかのだれよりも主を愛しているだろうか」と自問してください。その後、その返答を、主が定められた次の基準と比較してみてください。

- 「わたしよりも父または母を愛する者は、わたしにふさわしくない。」
- 「わたしよりもむすこや娘を愛する者は、わたしにふさわしくない。」（マタイ10:37）

家族と友人に対する愛は、現在深いかもしれませんが、イエス・キリストの愛にしっかりと根を下ろすときにもっと深くなります。子供に対する親の愛は、主のおかげでこの世



主

は模範的な生活によって現世の教導の業を進められました。それには主の教え、たとえ、説教が含まれています。思いやりをもって神権の権能を行使することが含まれています。

においても次の世においてももっと深い意味を持ちます。愛の関係はすべて主によって深いものとなります。天の御父とイエス・キリストを愛することで、より高遠な方法でほかの人々に対する愛に光と靈感と動機づけが与えられます。

儀式は、永遠に価値のある奉仕に焦点を当てます。親はそれぞれの子供のために、次にどの儀式が必要かを考えなければなりません。ホームティーチャーは、自分が仕えている家族のために次に必要で適切な儀式のことを考えなければなりません。

祈りについての救い主の模範を通して、個人の祈り、家族の祈り、また教会での割り当てをよく祈って果たすことがわたしたちの生活の一部とならなければならないということを思い出します。御父の御心を知って行うことにより、大いなる霊的な強さと自信が与えられます(教義と聖約 121:45 参照)。わたしたちが望む場所は主の側にあります。

「現在のことをありのままに示し、未来のこともまた、ありのままに述べ[る]」**知識**があれば(モルモン書ヤコブ 4:13)、わたしたちは真実の原則と教義に基づいて行動できるようになります。その知識はわたしたちの行動のレベルを引き上げます。そうでなければ行動が欲求と感情によって駆り立てられることになる可能性があります。そのような行動は、理性と正当な理由によって引き出される行動に取って代わられることでしょう。

最後まで堪え忍ぶことを決意するとは、奉仕の召しからの解任を求めないということです。すなわち、価値ある目標を追求し続けるということです。つまり、道をそれている、愛する人々を見限らないということです。また、病気や障がい、死といった苦難の日々にも永遠の家族関係を常に大切にするということです。

わたしは、人を変える主の影響力によって皆さんの人生が大きく変わりますようにと心から祈っています。わたしたち一人一人は、主の使命と主の教導の業から、この世でも永遠の将来においても祝福を得ることができるのです。■

1998年8月18日、ブリガム・ヤング大学のデイボーションナルでの説教から。全文[英語]は、speeches.byu.edu からご覧いただけます。

注

1.『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』49 - 50

復活祭の週

わたしたちの救い主イエス・キリストは、その生涯の最後の週に贖罪^{しゅくざい}を成し遂げられました。それには、ゲツセマネでの苦しみ、ゴルゴタでの十字架刑、墓からの復活が含まれています。

地球が創造される前の天上の会議で、天の御父は御自分の子供であるわたしたちのために計画を提示されました。そして、救いの計画を実行するために天の御父がイエス・キリストを選ばれたとき、わたしたちは喜び呼ばわれました(ヨブ 38:7; アブラハム 3:27 参照)。

イエスはベツレヘムでマリヤから生まれ、罪のない生涯を過ごされました。主の贖罪のおかげで、わたしたちは天の御父のもとに戻ってともに住み、永遠の命を得ることができるのです。イエス・キリストは福千年の間地上に住むために力と栄光をもって再び戻って来られます。そして、終わりの日にすべての人の裁き主として立たれます。

次に紹介する画像は、救い主の生涯の最後の週を描いた聖書のビデオからのものです。それぞれの画像に対して挙げられている聖句を読んでください。すべての出来事の順番については、『聖句ガイド』にある福音書対観表を参照してくだ

さい。聖書ビデオは、biblevideos.lds.org で視聴できます。

画像 © 2015



過ぎ越しの祭の5日前に、
イエスは預言どおり、
ロバに乗ってエルサレムに
お入りになりました。
人々はイエスを王と認め、
「ホサナ」と叫び、
ロバの前に上着と
ナツメヤシの葉を
敷きました
(マタイ 21:1-11;
マルコ 11:1-11;
ゼカリヤ 9:9 参照)。



イエスは、この世における教導の業の期間に2度、宮清めを行われました。
「『わたしの家は、祈の家となえられるべきである』と書いてある。
それなのに、あなたがたはそれを強盗の巣にしている」と、
イエスは両替人たちに言われました (マタイ 21:13)。
その後、目の見えない人や足の不自由な人が大勢、神殿にいるイエスのもとにやって来たので、
イエスは彼らを癒されました。
しかし、祭司長と律法学者たちはイエスの奇跡を見て腹を立て、
イエスを殺す方法を探りました (マタイ 21:12-17; マルコ 11:15-19 参照)。

御父の独り子イエス・キリストは、御自身を低くして、
すべての人を墮落から贖うためにこの世に来られました
(1ニーファイ 11:16-22, 26-33; アルマ 7:10-13 参照)。



救い主は、その週に最も印象深い説教の幾つかを述べておられます。
その一つがやもめのレプタについての教えです
(マルコ 12: 41 - 44; ルカ 21: 1 - 4 参照)。

ゲツセマネの園で、
救い主はひざまずいて祈り、
世の人々の罪のために苦悶し、
「苦痛のためにおののき、
あらゆる毛穴から血を流し、
体と霊の両方に苦しみ」を
受けられました
(教義と聖約 19: 18)。
それからすぐに
イスカリオテのユダと
武器を持った大勢の者が
イエスを捕らえ、
弟子たちは皆、
主を見捨てて逃げて行きました
(マタイ 26: 36 - 56;
マルコ 14: 32 - 50;
ルカ 22: 39 - 53 参照)。



最後の食事のときに、イエスは使徒たちに、
自分が死んだ後に
彼らは慰め主、すなわち
聖霊を受けると約束されました。
また、聖餐を受けることによって
イエスを思い出すように彼らを教えられました。
その夕べの最後に、
イエスは執り成しの祈りをささげ、
弟子たちが一つになれるようにと
祈られました
(マタイ 26: 17 - 30;
マルコ 14: 12 - 26;
ルカ 22: 14 - 32;
ヨハネ 13 - 17 章参照)。





違法な裁判と残忍な鞭打ちを受けた後、イエス・キリストは、十字架につけられることを自ら許して「大いなる最後の犠牲」となり、神のすべての子供が救いを得られるようにされました（アルマ 34：14 - 15 参照）。イエスに従う者たちは、日没前にイエスの遺体を十字架から下ろし、香料を入れて亜麻布で包み、墓に納めました（マタイ 27 章；ルカ 23 章；マルコ 15 章；ヨハネ 19 章参照）。



日曜日の朝になり、マグダラのマリヤとほかの信仰篤い女性たちは、イエスの遺体にもっと香料を塗ろうとして墓にやって来ました。すると、墓の石が転がされており、二人の天使がいるのを見ました。天使は喜びのおとずれをこう宣言しました。「もうここにはおられない。……よみがえられたのである。」（マタイ 28：6）復活された救い主はすでに肉体の死に打ち勝って、わたしたち一人一人が再び生きることができるようにしてくださりました。「アダムにあってすべての人が死んでいるのと同じように、キリストにあってすべての人が生かされるのである。」（1 コリント 15：22）（マタイ 28 章；マルコ 16 章；ルカ 24 章；ヨハネ 20 章参照） ■

子供たちを助ける

バプテスマに備えられるように

教会機関誌

ジェシカ・ラーセン, マリッサ・ウィディソン

子供時代は、喜びにあふれる数々の「初めて」を経験する時期です。初めて自転車に乗る、初めて学校に行く、初めての食べ物に挑戦する、といった胸躍る冒険が、子供たちの人生を形作るのです。わたしたち大人には、子供たちがこの発見の旅を歩めるように助ける機会が与えられています。教会においても、子供たちが福音の中で成長できるように助ける機会があります（教義と聖約 68：25 参照）。愛ある天の御父と最初に交わす聖約であるバプテスマが、子供にとって麗しく、意義深いものとなるように、わたしたちには何ができるでしょうか。

「これが青少年を教えるこの教会の基本的な目的です。すなわち、まず家庭で教え、次に教会で教えるのです」とボイド・K・パッカー会長は教えました。¹

以下の例では、子供たちがバプテスマと確認の神聖な儀式と聖約に備えられるように、両親がどのように助けたかが紹介されています。

早くから始める

「子供たちが7歳になる年は、お祝いの年です」と、4人の子供の母親であるローリは言います。彼女と夫は子供たちが生まれたその日からバプテスマについて教えます。しかし、子供が7歳になると、家族はもっと具体的な準備を始めます。毎月、家庭の夕べのレッスンで、聖約やイエスの模範などのバプテスマに関連した様々な事柄を教えます。

子供たちが8歳になる月には、特に心のこもったレッスンをするとローリは言います。子供たちには命名と幼児の祝福を受けたときに身につけた衣装を見せ、その儀式が行われた日のことを話して聞かせます。

「神殿の聖約の祝福に焦点を当てて話すのに最適な時です」とローリは語ります。「わたしたちはいつも、バプテスマを受けるといふ選びが神殿の祝福に備える第一歩であることを中心に教えるようにしています。」



家族の活動にする

4人の子供の母親であるモニカは、可能なときはいつでも年上のきょうだいたちに年下の子供たちを助けてもらうように勧めています。「10代の兄や姉が証して^{あかし}くれたり、経験を分かち合ってくれたりすることが、ほんとうに力を増し加えてくれるんです」と彼女は言います。ローリは、バプテスマの準備をしている子供たちに、学んだことを弟や妹と分かち合ってもらおうとも言います。



伝道の機会として使う

ダニエルは、娘が8歳になったら、教会員でない友達にも自分のバプテスマ会に来てほしいと思うだろうと分かっていました。そこで家族は、アリソンのバプテスマ会に学校や近所の友達も招待することにしました。そのとき、友達には聖書の中の好きな聖句を選んできてもらうように頼みました。バプテスマの後、アリソンは自分の新しい聖典を開き、友達が分かち合ってくれた聖句に線を引いて、その横に友達の名前を書きました。

「もちろん、その日は家族として熱心にかかわりました。しかし同時に、娘がバプテスマの後のひとときを友達と過ごし、自分が感じたことを友達に話せるようにしてあげたのです」とダニエルは言います。「子供が模範を示す様子を見るのは、ほんとうに心温まる瞬間でした。」

ビショップとの面接を練習する

バプテスマを受ける年齢に近づく子供たちを持つ母親、キンバリーは、自分が8歳のとき、バプテスマの面接を受けるためにビショップの部屋に入って行ったときのことを覚えています。「とっとも緊張していました」とキンバリーは言います。

彼女は今、子供たちがうろたえることのないように、よく備えさせようとしています。夫と二人で、ビショップとの面接について子供たちに話し、実際の面接のような設定でバプテスマについての質問を尋ねます。このような面接を重ねることで、面接に慣れさせるだけでなく、バプテスマの聖約が自分にとってどのような意味があるかを深く考えるように励ますこともできています。

わたしたちには素晴らしい機会がある

実践例を紹介した両親たちは、子供たちをバプテスマや確認に備えさせるために、何も特別なことはしなかったと口をそろえて言います。しかし彼らの多くが、長い間教えてきたレッスンについて話すとき、「入念に」や「一貫した」という言葉を使っていました。「子供たちが、これは自分の人生で大切な一歩であり、重大なことなのだとしっかり理解できるようにしました」とキンバリーは言います。「初等協会の先生が教えてくれるだろうと願っているだけでなく、子供たちを備えさせるのは自分たちであると常に意識しました。」

愛する子供たちがバプテスマや確認に備えられるよう助けるのは、何と素晴らしい機会でしょう。祈りの気持ちでそうするならば、最初の聖約を交わす経験を、将来の霊的な成長を支える力強い土台とするうえで、主はわたしたちとともにいてくださるでしょう。

次の2ページには、バプテスマや確認の儀式に関する子供たちの質問とそれに対する答えが載っています。■

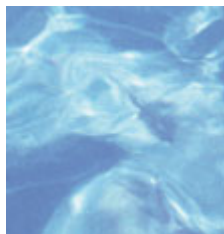
注

1. ボイド・K・バッカー「子どもたちを教えなさい」『リアホナ』2000年5月号、16

バプテスマを理解する

教会機関誌

マリッサ・ウィディソン



だれがわたしにバプテスマを施してくれますか

バプテスマを施す人は、神権を持っていないればなりません。神権とは、神の御名によって行動する力のことです。イエスがバプテスマを受けたいと思われたとき、バプテスマのヨハネのもとに行かれました。バプテスマのヨハネが神権を持っていたからです(マタイ3:13参照)。

あなたにバプテスマを施す人は、ビショップあるいは支部会長から許可をもらいます。



バプテスマを受けるために、水の中に入らないといけませんか

イエスは水に沈めるバプテスマを受けられました。これは、完全に水の中に沈み、すぐに水から上がったことを意味しています(マタイ3:16参照)。あなたもこのような方法でバプテスマを受けます。このような方法でバプテスマを受けることで、これまでの生活を捨て、神とその子供たちに仕えることに献身する新しい生活を始めることを思い起こすことができます。



バプテスマを受けるとき、どんな約束を交わしますか

バプテスマを受けるとき、天の御父と聖約を交わします。聖約とは神と人との間で交わされる約束のことです。あなたは天の御父に対して、幾つかの定められたことを行うと約束し、天の御父はあなたに祝福を与えると約束してください。この聖約は毎週日曜日に行われる聖餐の祈りの中で示されています(教義と聖約20:77-79参照)。以下のことを約束します。

- イエス・キリストを覚える。
- 主の戒めを守る。
- キリストの御名を受ける。それは、生活の中で主の御業を第一にし、この世が求めることではなく、主が求めておられることを行うことを意味します。

天の御父は、あなたがこの約束を守るなら聖霊があなたとともにいてくださり、罪が赦されると約束しておられます。



聖霊とはどのような御方ですか

聖霊の賜物は、天の御父の最も貴い賜物の一つです。水に沈めるバプテスマを受けても、メルキゼデク神権を持つ男性から祝福を受け、聖霊を授かるまで、そのバプテスマは完全にはなりません(ヨハネ 3:5 参照)。

聖霊は神会の御一人です。聖霊は天の御父とイエス・キリストについて証し、何が真実かが分かるように助けてくださいます。霊的に強くいられるように助けてくださいます。危険を知らせてくださいます。学ぶときに助けてくださいます。聖霊はわたしたちが神の愛を感じられるように助けることができになります。

教会の会員に確認されると、正しいことを選ぶならいつも聖霊がともにいてくださいます。



なぜ8歳になるまでバプテスマを受けられないのですか

主は、子供たちは善悪の違いを理解する年齢に達するまでバプテスマを受けるべきではないと教えておられます。聖典には、その年齢は8歳であると書かれています(モロナイ 8:11-12; 教義と聖約 29:46-47; 68:27 参照)。



七十人
ジャイロ・
マサガルディ長老

神殿に 引き寄せられて

多くの善良な人々にとって、
神殿は一瞬で心を貫き通すような印象を与えます。

七十人第二定員会の会員に召される前、妻とわたしはブラジルのカンピナス神殿とサンパウロ神殿で数年間奉仕しました。両方の神殿で経験したのですが、神殿のそばを通る人々が、神殿に引き寄せられるようにして立ち止まり、中に入り、神殿について尋ねることにわたしは驚嘆しました。

わたしたちは、神殿の中に入って来た人々に対して、ふさわしい準備をしなければこれよりも中には入れないことを伝えます。その後神殿の目的を説明し、福音の基本的な教義を幾つか分かち合い、そして宣教師と会ってみるよう勧めます。多くの善良な人々にとって、神殿そのものがすばらしい宣教師です。それは、一瞬で心を貫き通すような思いを与えるからです。

妻のエリザベスとわたしは、そのような第一印象が持つ力を知っています。40年近く前のこと、会社の同僚でもあった良い友人がいました。教会員だった彼は、わたしたちとの普段の会話の中で福音を話題にし始めました。数回、宣教師が我が家を訪問するように手配してくれたこともありました。わたしたちは宣教師が気に入り、話を聞くことにしましたが、彼らの教えることにほんとうに興味があったわけではありませんでした。



変化が起こったのは1978年の10月のことでした。会社の同僚が、わたしたちも含めて数人の友人をブラジル、サンパウロ神殿のオープンハウスに招待してくれたのです。彼は50マイル(80キロメートル)離れた神殿に友人たちが同行できるように、自費で数台のバスを借りてくれました。

エリザベスがバプテスマの部屋に入ったとき、彼女はそれまで経験したことのない気持ちを感じました。後でそれは聖霊だったと分かりました。心に大きな喜びを感じたのです。その瞬間、教会は真実であり、自分が入りたい教会だと分かりました。

わたしも、オープンハウスの最後に同じような気持ちを感じました。それは、結び固めの部屋に案内され、永遠の家族についての教義を教えられたときでした。その教義にわたしは感動しました。わたしは仕事で成功を収めていましたが、長い間、心にむなしさを感じていました。それを満たしてくれるものが何なのかは分かりませんでしたが、何か家族に関係していることであると感じていました。その結び固めの部屋の中で、わたしの思いと心に変化が起き、様々なものがあるべき場所に落ち着き始めたのです。

数日後、宣教師が再びわたしたちに連絡してくれたとき、わたしたちはそのメッセージを聞くことに非常に興味がありました。

長老たちはわたしたちに、真理について熱心に祈るように励ましてくれました。わたしはそのように祈り求めることこそ、自分にできる唯一の祈り方だと判断しました。真の証^{あかし}を持たずに教会に入る決心はできないことは分かっていました。神に近づき、確信を願い求めたいという強い気持ちとともに、主は必ずこたえてくださるという確信がありました。心の奥底からの願いを神にお伝えし、教会に入ることが正しい道であるという確信を答え

として与えてくださるように願い求めました。

翌週の日曜学校で、神殿のオープンハウスに招待してくれた友達が、わたしの後ろに座っていました。彼は身を乗り出してわたしに話しかけてきました。彼が語った言葉は、わたしが知りたいと願い求めている言葉そのものでした。天の御父が彼を通してわたしに話しかけてくださったことは疑いようがありませんでした。当時、頑固でかたくなだったわたしの心は和らげられ、わたしは泣き始めました。話し終えた友達はわたしたち夫婦にバプテスマを受けるように勧めてくれ、わたしたちはそれを受け入れました。

1978年10月31日、サンパウロ神殿での経験の後1か月もたたないうちに、わたしたちはバプテスマと確認を受けました。翌日、ブラジル、サンパウロ神殿の2回目の奉獻式に出席しました。1年後、わたしたちは二人の息子とともに神殿に戻り、家族の結び固めを受けました。この3つの出来事はいずれもすばらしく、思い出深い経験でした。その後何年にもわたり、通常の神殿の礼拝のときも、この思いを心に留め続けています。

バプテスマの日から28年がたち、妻とわたしはブラジルのサンパウロ神殿に再びいました。わたしは神殿会長として召されたばかりでした。主の宮居のホールを歩きながら、わたしたちの改宗を促した心地よい思いをまた新たに感じるのはすばらしい経験でした。

神殿は、わたしたち夫婦に偉大な幸福をもたらし続けてくれています。若いカップルが神殿に入り、永遠の家族として結び固められるのを見るとき、大きな希望を感じます。

世界中の多くの人々が、福音のメッセージを聞く備えができています。わたしが30年以上前に感じたような渇きを彼らは感じています。神殿とその儀式は非常に力強く、その渇きを癒^{いや}し、心のむなしさを満たしてくれるのです。■

わたしが操縦する飛行機に問題がありました

ある日の夕方、満席の飛行機を滑走路に向けて走らせていると、飛行機の操縦システムに何か問題があると感じました。自分が受けた靈感が正しいかどうかを確かめるために、機体を誘導路の端に寄せ、360度の旋回を数回繰り返してみました。何も故障している様子はありませんでした。

わたしは「離陸して、予定どおりに乗客を目的地まで送り届けるべきだろうか、それともゲートに戻るべきだろうか」と考えました。戻れば、大幅に遅れることは分かっていました。誘導路は一方通行なので、反対方向に進むには、管制官がスペースを作ってくれるのを待たなければなりません。その後、

整備スタッフが機体を確認するのを待つ必要があります。飛行機が遅れば、ほかの航空路線にも支障を来しますし、乗客の待ち合わせや乗り継ぎにも影響が出ます。また、機体の問題については、自分がそのような気持ちを強く感じたということ以外にははっきりとした報告ができないことに、整備部門のスタッフがどのような反応を見せるだろうとも考えました。

航空機の機長として全員の安全を守る責任があったので、わたしは自分が受けた印象に従って戻ることになりました。

ゲートに到着したとき、わたしは整備士に、飛行機に何か問題があると感じたのだが、それが何かは分からない

と話しました。彼は、問題があることを信じませんでした。

彼は「おそらく、誘導路が濡れているために、アスファルトの上で滑ったのかもしれませんがね」と言いながらも、前輪の操縦ギアを調べてみるのと言ってくれました。確認した後、試しに乗ってみるので乗客を全員降ろしてほしいと頼んできました。

30分後に戻ってきた彼は、非常に困惑していました。試乗している間、断続的なきしり音が聞こえたと言うのです。ゲートに戻るために曲がろうとブレーキをかけたところ、飛行機が制御できなくなり、もう少しで誘導路からはずれてしまうところだったとのことでした。

さらによく調べてみると、前日の晩に行った整備が不適切だったことが明らかになりました。もしもあのまま飛行し、着陸していたら、ブレーキが利かず、機体を制御できなくなっていたことでしょう。

わたしは別の航空機を与えられ、3時間遅れで乗客を安全に目的地まで送り届けることができました。

わたしは御霊のささやきに耳を傾けたことをうれしく思います。わたしたちが主の導きを求め、与えられる促しに聞き従うなら、御霊が導いてくださると知っています。■

クレーグ・ウィリー（アメリカ合衆国、ユタ州）

機体の問題については、自分がそのような気持ちを強く感じたということ以外、はっきりとした報告ができないことに、整備部門のスタッフがどのような反応を見せるだろうかと考えました。



人生に喜びを見いだす

あるときわたしは、十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老が総大会で話した説教を読んでいました。以前にもその説教を聴いたり読んだりしたことがありますが、そのとき、ある文章がわたしの注意を引き、心に残りました。

数時間後、アパートを借りて友達と住んでいる息子が立ち寄りました。伝道を終え、大学にも数学期間通いましたが、どの分野の教育を受け、どの職業を選ぶべきか迷っていました。焦っていた息子は、大学は時間とお金の無駄だと感じ、勉強を一時中断してフルタイムで働き始めたところでした。

息子は、友達の一人からバハマ諸島かカリブ海の島に行って仕事を見つけ、数か月楽しんでくるのはどうかと提案されたことを話してくれました。息子はその話に浮かれていました。若い男性にとってそのような気楽な経験がどれだけ魅力的なものかは容易に分かりました。

ちょうどそのとき、心に残ったスコット長老のメッセージが思い浮かび、教会機関誌を手にとって次の言葉を息子に読んで聞かせました。「皆さんは神聖な目的のために地上に来ています。際限なく楽しみ、飽くことなく娯楽を追求するためではありません。神が用意された、さらなる祝福を受けられるよう、試され、自分自身を証明するために存在しているのです。忍耐力も要求されます。」(『人生に喜びを見いだす』『聖徒の道』1996年7月号, 30)

息子は何も言わずに機関誌を持って離れたところに行き、説教を最初から

最後まで読みました。しばらくして、息子は島への冒険旅行はとりやめたとだけ言いました。

やがて息子は警察学校に入り、その道を選んだことで、将来の妻となる女性と出会いました。二人はアリゾナのメサ神殿で結婚し、今では3人のすばらしい子供たちを育てています。息子は2010年に学士号を取得し、真に「人生で喜びを見いだ」しています。

息子が提案した冒険は良い経験になったかもしれませんが、一方で、霊的に危険な状況に陥る可能性もありました。

この経験を思い出す度に、御霊がわたしの心に触れてくださいます。

わたしは預言者の言葉に感謝します。また、促しを受けて説教を思い出し、それによって息子に導きを与えることができたことにも感謝しています。息子が主の使者の言葉に耳を傾け、御霊の影響を受けようとしてくれたことにも感謝しています。わたしたちが救い主と主の僕の教えに耳を傾け、従うとき、多くの祝福と深い^{あわ}憐れみが与えられることを知っています。■

カレン・ロックウッド(アメリカ合衆国、アイダホ州)



息子が、友達からバハマ諸島かカリブ海の島に行って数か月楽しもうと誘われたと話してくれたとき、わたしの心にスコット長老のメッセージが浮かびました。

途切れた電話

1997年3月、ロシアのロストフォン
ドンという町に住んでいたとき、
夫とわたしはバプテスマを受けて末日
聖徒イエス・キリスト教会に入りました。

教会の教義を学ぶうちに、それまで
抱いていた疑問の多くに対して答えを
得ました。救いの計画について学ぶ
ことは興味深く、中でも死者のための
バプテスマに興味を持ちました。亡く
なった先祖のためにバプテスマを受け
ることができるを知って驚きました。

バプテスマを受けて1年後、伝道部
会長から神殿に行く準備をするように
勧められました。準備の一つとして、
家族歴史の探究を始めました。ある日
この業を行うことについて考えていた
とき、電話が鳴りました。夫の母から
でした。夫の側の亡くなった先祖の
リストを送ってもらえないかどうか尋ね
ると、義母は驚いて、死者のための
バプテスマはキリストの教義ではなく、
モルモン教徒が考え出したものだと
言いました。この教義の基になる参照

聖句を知らなかったわたしは、どう答
えてよいかわかりませんでした。

どう答えようかと考えていると、電話
が切れました。何が起こったのか一瞬
分かりませんでした。わたしは受話
器を置いて寝室に行きました。新約
聖書を手に取ってひざまずくと、答えが
書いてある箇所を示してくださるよう
天の御父に祈り求めました。

祈り終えて聖書を開くと、ちょうど
開いたページの29節を読むように
だれかから言われているような気がし
ました。そのページはコリント人への
第一の手紙の第15章で、死者のため
のバプテスマの教義について書かれて
いました。

わたしは天の御父がすぐにわたしの
祈りにこたえてくださったことに驚き、
感動しました。すばらしい気持ちがあ
りました。

この経験について深く考えていると、
突然電話が再び鳴りました。義理の
母からで、なぜ電話が切れてしまっ
たのか聞いてきました。わたしは分か
らないと答えた後で、義母に聖書を開
いて第1コリント15章29節を読んでほ
しいと頼みました。

数日後、我が家のテーブルの上には、
亡くなった先祖の名簿がありました。
義理の母がその聖句を読み、救い主が
使徒パウロを通して死者のためのバプ
テスマの教義を教えられたことを信じる
ようになったのです。

神は、この^{あがな}贖いの業を行う人々に
大いなる祝福を与えると約束されてい
ます。わたしはこれが真実であると
知っています。■

セダ・メリクセティアン (アルメニア)



義理の母は、
死者のためのバプテスマは
キリストの教義ではなく、
モルモン教徒が考え出したことだ
と言いました。

この雑誌は どこで 買えるのですか

アメリカ合衆国のネバダ州からアラスカ州に家族と旅をする間、背が高く、魅力的で、親しみやすい女性と会話をする機会がありました。

彼女からどこに行くのか尋ねられて、わたしたちは息子家族に会いに、アラスカのジュノーに向かっていると答えました。彼女は、自分はラスベガス出身だと話した後で、少し感情を高ぶらせた様子でジュノーに夫の親戚を尋ねて行くところだと言いました。結婚して20年になる彼女の夫が、最近がんで亡くなったばかりとのことでした。

わたしは通路を挟んだ隣の席に目をやりながら、自分が救いの計画を知っていること、そしてネバダ州ラスベガス神殿の儀式執行者であることは何と恵まれたことだろうと思いました。この女性を元気づけるために自分に何ができるだろうと考えました。

突然、わたしの心にはっきりと浮かんだのは、扶助協会でわたしが配った預言者ジョセフ・スミスの言葉でした。扶助協会を組織したとき、ジョセフは姉妹たちが「急いで出て行って見知らぬ人を助け……、悲しむ人の傷ついた心に油とぶどう酒を注〔ぎ〕……孤児の涙をぬぐい、やもめの心に喜びを与える」姿を見ました（『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』452）。

再び通路を挟んだ隣の席を見ると、悲しみに打ちひしがれた見知らぬ人、心に傷を負った未亡人が見えました。その日、2011年7月号の『リアホナ』を読んだことを思い出しました。その



わたしは、最近夫を亡くしたばかりのこの女性を元気づけるために、自分には何ができるだろうと考えました。

中には、彼女に励ましと慰めを与えてくれるような心を高める記事が載っていました。

わたしは勇気をふりしぼってリアホナその記事のページを開け、彼女に読んでみるように頼みました。わたしは、彼女が熱心に一行一行読み進めていく姿を間近で見て驚きました。彼女は一つの記事を読み終えると、別の記事を読みました。

何かが彼女の心の琴線に触れたのは明らかでした。彼女はリアホナをしっかりと胸に抱きしめ、涙をぬぐいました。

「この雑誌はどこで買えるのですか」と聞かれたので、「差し上げます」と答えました。それからまた彼女は読み進めていきました。

ジュノーに着いたとき、彼女はわたしの手を取り、わたしの目をしっかりと見つめて「ありがとう」と言いました。

わたしはこの経験からすばらしい教訓を学びました。わたしたちの周りには、傷ついた心を持ち、優しい励ましの言葉を必要とし、わたしたち末日聖徒が知っていることを知る必要のある見知らぬ人がいるということ学んだのです。■

シャロン・ラザー（アメリカ合衆国、ネバダ州）

ときには、より良いもののために、
良いものをあきらめなければ
ならないことがあります。

より良い方を選ぶ

教会機関誌

マシュー・D・フリットン

ある日、ハンガリーのセゲド出身のゾルターン・シュチュは、カヤックのコーチを驚かせました。競技に出場するために行く予定だったドイツに行かないと言ったからです。

「わたしのバプテスマの日と重なったので、行けないと言ったんです」とゾルターンは言いました。

ゾルターンは17歳のとき、カヤックの数々の試合で優勝しました。カヤックはハンガリーで人気のあるスポーツです。ゾルターンはカヤックが得意で、プロになれるほどの腕前でした。しかし、ゾルターンは今回の試合に出ないと決めただけでなく、カヤックを完全にやめようとしていました。より良いものを見つけたのです。

ゾルターンは、カヤックを通して多くの良いものを得てきました。何年もコーチと練習に励むことで、自制心や従順さ、勤勉さを身に付けました。ゾルターンはまた、パフォーマンスの質を下げってしまう物質や習慣を避けることも学んできました。そのような生活は簡単ではなく、孤独でした。プロになろうとすれば、さらに多くの時間が求められます。プロの選手は一日12時間練習し、日曜日も競技に出なければなりません。

「カヤックにほとんどの時間を費やしてきました」とゾルターンは言います。「異常なほどでした。そのために、人生

でたくさんのものをやり残してしまいました。」

だからこそ、ゾルターンは、福音とカヤックの両方を取ることはできないと判断したのです。2004年、もうカヤックはやらないとコーチに伝えました。

その年の少し前に、宣教師がゾルターンの母親を教え始めました。ゾルターンはレッスンに参加しませんでした。母親からバプテスマに来てほしいと言われ、しぶしぶ行きました。しかし、教会堂に足を踏み入れたときに心に何かを感じました。宣教師と会うことを受け入れたのは、それが何だったのかを確かめるためでもありました。

「宣教師に興味がありました。彼らは普通の人でしたが、わたしより高い標準に従って生活していたからです」とゾルターンは語ります。

カヤック競技者としてすでに高い標準に従って生活していたゾルターンは、すぐに福音の教えを価値あるものとして受け入れました。そして2か月後、バプテスマを受けました。

当初、日曜日の競技には出ないことにすればカヤックは続けられると思っていました。しかし、一つの活動や道に進むと決めたら、良い結果を出したいと思ってしまう性格だったため、完全にカヤックをやめることを選んだのです。

バプテスマを受けた後、カヤックを趣味としてやってみました。そのとき

コーチから、もう競技はしないのだからほかの人を教えたり、旅行の計画を手伝ったりしてほしいと言われました。しかし彼は、カヤックであろうと何であろうと、自分が主の弟子として仕えるうえで妨げになる可能性があるものには、責任を伴う約束はしたくありませんでした。

そこでゾルターンはパドル（訳注——カヤックをこぐための道具）を壁にかけ、教会の奉仕に自らをささげました。そのとき彼は、ハワード・W・ハンター大管長（1907 - 1995年）が結婚したときに決心したのと同じような思いを抱いていました。ハンター大管長は、何種類もの楽器を演奏する卓越した音楽家で、夜になると、オーケストラで演奏していました。しかし、そこでつきあっていた人々の生活は福音の標準とは相反していました。そこでハンター大管長は楽器をしまいこみ、家族で歌ったりするとき以外は、ほとんど出さなくなったのでした。¹

ゾルターンはカヤックを懐かしく思うこともあります。カヤックに対する思いがあまりに強いため、深いかかわりを保ったら、主への愛との間で葛藤し、カヤックへの思いの方が勝ってしまったかもしれないと気づきました。

どんな活動であっても、神が望んでおられる姿から離れさせるものについて同じことが言えます。わたしたち



ハンガリー、セゲド出身の
ゾルターン・シューチュは、
福音にもっと多くの時間を使うために
カヤックをあきらめました。



一人一人にとって、たとえ良いものであったとしても、そのために永遠の命が危くなるならば、それなしで人生を生きの方がもっと良い場合があります。

「教会がわたしの人生になりました」とゾルターンは言います。「教会に活発でいたいなら、カヤックはただの趣味であり、それで食べていくことはできないと分かったので、簡単にあきらめられました。カヤックに代わって、天の御父を第一に生活したいと思いました。」

ゾルターンは、自分が目指すものは何に対しても集中して取り組んできましたが、同じように熱心に福音を学び始めました。彼はまた伝道に出る目標を立てました。自国にとどまり、人々に教えたいと思いました。

ゾルターンはハンガリーで伝道し、今は高校の英語の教師として働いています。今も続けて福音を最優先にしています。「神の前に歩むうえで妨げになるので、あきらめなければならぬものがあります」と彼は言います。「悪いことであればやめるべきだと分かるので、あきらめるのは簡単です。でも、より良いもののために良いものをあきらめる必要があることに気づかないことがよくあります。悪いことではないため、それに手をかけながら神の計画にも従えると考えてしまうのです。」でもゾルターンは、たとえそれが良いものであっても、神が用意してくださった計画からわたしたちを離れさせるものであるなら、あきらめるべきだと知っています。■

注

1. エレノール・ノウルズ, *Howard W. Hunter* (1994年), 81

「純潔の律法を 破るのがいけない理由を、 友達にどう説明すれば よいのでしょうか。」

天の御父は、わたしたちが幸せになり主の御霊にふさわしくあるよう望んでおられます。そのため、天の御父はわたしたちが思いと言葉、行いを適切な範囲にとどめることができるよう、戒めを与えてくださいました。純潔の律法は、生殖の力を結婚関係の中にとどめられるようにしてくれます。天の御父が、生殖の力を夫と妻の間でのみ用いるよう戒めておられる理由の一つは、「子供たちは結婚のきずなの中で生を受け……る権利を有してい[る]」からです。¹

友達に『若人の強さのために』を上げるとよいでしょう。この小冊子には、純潔の律法を守ることがよい理由が幾つか述べられています。「性的に清いとき、あなたは神殿で聖約を交わし、聖約を守る備えをしているのです。また結婚を強いきずなで結ばれたものとし、愛に満ちた永遠の家族の一員として子供たちをこの世に招く準備をしているのです。結婚というきずなの外ではほかの人と性的な親密さを持つことから来る霊的・感情的なダメージからも守られます。また有害な病気からも守られます。いつも性的に清くあることで、あなたは自信と真の幸福を得、現在と将来にわたり、正しい決定を下す能力を高めることができます。」²

神 殿



天の御父は、わたしたちのために定められた神聖な目的を持っておられ、その目的は神殿で果たされます。家族が永遠に結び固められるよう、わたしたちは神殿に参入するのにふさわしくあるべきです。わたしたちは再び天の御父とともに住み、そして何よりも、ふさわしくない者が得られない永続する喜びを手に入れることができます。

アロファ・M, 18歳 (サモア)

結婚と家族



わたしたちは、神殿に参入するためのふさわしさを保ち、神聖な聖約を守ることができるように、性的に清くあるよう勧められています。純潔の律法に従うなら、将来堅固な結婚生活と家族を築くことができます。サタンは常にそばにいてわたしたちを誘惑しますが、祈り、聖文、そして良い友人を通してそれを克服することができます。

レスティ・M, 16歳 (フィリピン)

悪い影響

純潔の律法を破るとたくさんの悪い影響が生じます。中には、保健の授業で学ばないこともあります。純潔の律法を破ることにより、生活から御霊を遠ざけ、身近な人を傷つけ、自己嫌悪に陥ります。次のモルモンメッセージの映像を視聴してみてください。「純潔——どのような制限があるか」[youth.lds.orgにて、英語、ポルトガル語、スペイン語で視聴できます。]

マシュー・T, 17歳 (アメリカ合衆国, ユタ州)

清さと敬意

純潔の律法に従うことにより、わたしたちは神の目に清くあり、自分自身を尊び、人からも尊敬を受けることができます。純潔の律法に従うことで、自分が神の子であり高い標準を守っていることを示します。わたしたちは、後悔を避けることができます。特にこの律法に関して天の御父に従うときに、この地上および来るべき世の生活はより幸福なものとなるでしょう。

アリアナ・G, 19歳 (フィリピン)

本誌の答えは、問題解決の一助となるように意図されたものであり、教会の教義を公式に宣言するものではありません。

神聖な賜物

生殖の賜物が軽視されると、神から授けられたこの貴い賜物は取るに足りないものとして扱われるようになります。贈り物を受け取った相手が贈り物を特別だと思わないならば、贈り主は贈ったかいがないと感じることでしょう。生殖の力は常に神聖に扱わなければなりません。なぜなら、わたしたちは皆神の宮であり、神殿のように清さと純粋さを保つべきだからです。

ジャロン・Z, 15歳
(アメリカ合衆国, アイダホ州)

御霊がともにいてくださる



罪のない清い状態を保つと、もっと幸福になり、祝福を受けます。わたしたちの肉体は神殿に似ており、天の御父は「清くない宮には住まわれ〔ません〕。」(アルマ7:21) ですから、罪のない清い状態を保つと、御霊がとどまるのです。

マリアン・P, 14歳
(アメリカ合衆国, アーカンソー州)

大切な質問

幾つかの質問をすることにより、友人の質問に答えることができます。「もし将来の伴侶が今のあなたを見ていたらどうですか。」純潔の律法を破った人たちは皆後悔すると聞きます。「純潔の律法を破ったことがあるかと将来自分の子供に聞かれたら、どうしますか。」友人は、息子や娘から質問される前に、純潔の律法の大切さを今のうちに学んでおく必要があります。神聖な律法を破ったという罪悪感を感じることなく幸せで健全な

生活を送れるように、自分自身を清く純粋に保たなければならないのです。

ロビン・K, 13歳 (アメリカ合衆国, ユタ州)

徳と純潔



主は徳と純潔をお喜びになります。また、すべてのことは適切な時期に起こる必要があります。純潔の律法は主から与えられた戒めです。祈り、御霊を伴侶とすることは、純潔が祝福であることを知るうえでの鍵となります。

セレーネ・R, 18歳 (ニカラグア)

結婚関係の中で

わたしなら、生殖の力は法律上の夫婦のためにのみ造られたものなので、純潔の律法を破ることはよくないと友達に説明します。純潔の律法を破ると、生活に聖霊の影響を受けることができなくなります。

オーガスティーナ・A, 15歳 (ガーナ)

注

- 1.「家族——世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129
- 2.『若人の強さのために』(小冊子, 2011年), 35



純潔の律法を破ると深刻な害を及ぼします

「主はこの永遠に続く結婚という聖約の中で、夫婦が主の定められた範囲において、その愛と美しさを保ちながら神聖な創造の力を用いることを許されました。……

しかし、この親しい行為を結婚という永遠の約束とは懸け離れた状況で行うことは主が禁じておられます。それは、主の計画を台なしにしてしまうからです。神聖な結婚の聖約の中では、この関係は主の計画にかなった行為となります。しかし、ほかの方法によるのは主の御心に反していますし、情緒的にも霊的にも大きな害を受けることになります。過ちを犯した人は、当初は気づかなくても後で必ずその害を被るのです。性的な不道徳があると、聖霊の力が遮られて……しまいます。」

十二使徒定員会 チャード・G・スコット長老
「正しい選択をする」
『聖徒の道』1995年1月号, 43 参照

次回の質問

「墮胎などの、福音の教えに反する話題が学校で出たらどうしたらよいでしょうか。」

あなたの意見をお聞かせください。2013年5月15日必着で liahona.lds.org に投稿するか、以下の住所まで郵送してください——

Liahona, Questions & Answers 5/13
50 E. North Temple St., Rm. 2420
Salt Lake City, UT 84150-0024, USA

掲載される際、誌面の都合上、あるいは明瞭な表現のために編集されることがあります。

電子メールまたは手紙には、次の情報と同意文を必ず明記/同封してください。(1) 氏名, (2) 生年月日, (3) ワードまたは支部, (4) ステークまたは地方部, (5) 意見と写真の掲載を許可する、あなたの署名 (18歳未満の場合は保護者の署名も必要です [電子メール可])。



トーマス・S・
モンソン大管長

神権の 召しを果たす 方法

皆さんは人の価値について考えたことがあるでしょうか。人間一人一人が持つ**潜在的な能力**について考えたことがあるでしょうか。

わたしが出席したあるステーキ大会で、当時ステーキ会長を務めていたポール・C・チャイルド会長が教義と聖約18章を開いて読み始めました。「人の**価値**が神の目に大なるものであることを覚えておきなさい。」(10節)

それからチャイルド会長はこう尋ねました。「人の価値とは何でしょうか。」ビショップやステーキ会長、高等評議員を指すのを避け、長老定員会の会長を選びました。

驚いた長老定員会の会長は、永遠とも思われそうな一瞬の沈黙の後、こう断言しました。「人の価値とは、**神のようになる能力**です。」

その場にいた人々は皆その答えに考えさせられました。チャイルド会長は話を続けましたが、わたしはその靈感を受けた答えについて考え続けました。

天の御父が教えを授けるために備えられた貴い霊に**手を差し伸べ、教え、心に触れる**ことは、非常に大きな責任です。首尾よくそれを果たすのは決して簡単ではありません。普通その前に**涙や試練、信頼、証**が伴います。

神の僕たちは、「わたしは……いつもあなたがたと共にいる」という主の約束から慰めを得ます(マタイ28:20)。このすばらしい約束は、執事、教師、祭司の定員会指導者として召されたアロン神権者の支えになっています。また、将来伝道に出て働く備えをするときの励みになります。だれにでも訪れるであろう失望のときでも慰めとなります。

「それゆえ、**善を行うことに疲れ果ててはならない**」と主はおっしゃっています。「あなたがたは一つの**大なる業の基**を据えつつあるからである。そして、**小さなことから大なることが生じる**のである。」

見よ、主は心と進んで行う精神とを求めらる。」(教義と聖約64:33-34) **たゆみない信仰、変わらない信頼、熱心な望み**、心から主に仕える人々は、いつもそのような特質を示してきました。

もし今わたしの話を聞いている兄弟たちの中で、**召しにこたえ、犠牲を**

払い、ほかの人々に祝福を分かち与える準備ができていないと感じている方々がいるならば、「**神が召される者には神が資格を与えられる**」という真理を覚えておいてください。■

この話は1987年4月の総大会での説教を基に書かれました。

自分にどのように 当てはめましたか

「主がわたしの味方でいてくださるという知識は、自分が伝道に出る理由を思い出させてくれます。つまり、主に仕え、救い主イエス・キリストのもとに人々を連れて行くために伝道に出るのです。主は伝道中にわたしの手に負えないような経験は与えられないことを知っています。」

ディラン・M
(アメリカ合衆国、
ユタ州)



フットラスト/ロニー・ベル © E

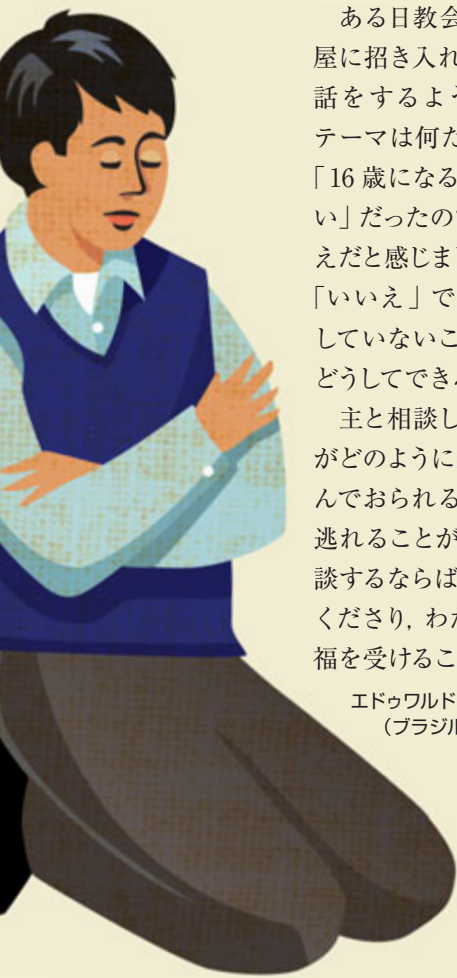
主と相談する

15歳のときに、わたしは学校の同じクラスの女の子を好きになり、デートをしたいと思いました。彼女は魅力的でしたが、わたしは16歳になる前にデートに誘うべきかどうか悩みました。アルマ37章37節に「あなたのすべての行いについて主と相談しなさい。そうすれば、主はあなたのためになる指示を与えてくださる」と書いてあったことを思い出しました。そこでわたしはそのとおりにしました。決断をする前に祈り、数日間主の答えを待ちました。

ある日教会で、ビショップに部屋に招き入れられ、次の日曜日に話をするよう依頼されました。テーマは何だったと思いますか。「16歳になるまではデートをしない」だったのです。これが主の答えだと感じました。つまり、答えは「いいえ」でした。自分が実践していないことを教えることなどどうしてできるでしょう。

主と相談したおかげで、わたしがどのように生活するよう主が望んでおられるかを知り、誘惑から逃れることができました。主と相談するならば、主は御心を伝えてくださり、わたしたちは豊かに祝福を受けることができます。

エドゥワルド・オリベイラ
(ブラジル、セアラ)



写真はアレックス・オルティスの厚紙に切り抜かれた「キリストと金持の若い女人」の一部/ハイブリッド・ホフマン画
C・ハリソン・ニコロイの厚紙に切り抜かれた「イラスト・ストリート・リリアー

わたしの好きな聖句

教義と聖約 24 : 8

この聖文を試練の最中に読むと、良い気持ちになります。「わたしはあなたの生涯の最後まで、あなたとともにいる」とあるからです。これはわたしにとって、わたしが天の御父を求めるならば、天の御父は生涯の最後まで必ずともにいてくださる、という意味があります。

アレックス・オルティス
(メキシコ、ヌエボ・カサス・グランデス)



あがな
贖いの力

宣教師からレッスンを受けていたとき、レッスンの主題は常にイエス・キリストと主の贖いでした。宣教師は、贖いはイエス・キリストからわたしたち一人一人への贈り物だと説明してくれました。贖いは、わたしたちが試練に遭ったときや罪を犯したときに、日々の生活の中で使うことのできる贈り物です。贖いの力は、永遠の命に至るまっすぐで狭い道に戻れるようわたしたちを高め、癒し、助けてくれます。



宣教師がこのことを教えてくれたときに、わたしはそれが真実であると証する強い気持ちを感じ、教会に入る決心をしました。

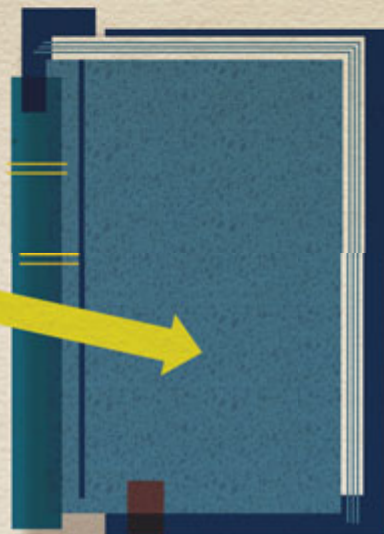
その後、わたしはこのすばらしい贈り物についてほかの人にも知ってもらおう手助けをしたいと思い、伝道に出ようと決めました。贖いについて教え、話すことにより、人々の生活が変わるのを目の当たりにしてきました。贖いについてただ聞くだけでなく自分の生活に応用することにより、わたしの生活も一変しました。

贖いが真実であることを知っています。贖いの影響を生活に取り入れるなら、どのような状況にあっても、事態は良い方向に向かい喜びを感じることができます。

イオリティ・タブロー (キリバス)



聖書



モルモン書

なぜわたしたちには モルモン書が必要なのか

すでに聖書があるのになぜモルモン書が必要なのかと尋ねる人がいるかもしれません。事実、イエス・キリストはそんなことが起こると証されました(2ニーファイ 29:3 参照)。モルモン書がわたしたちの時代に重要である理由はたくさんあります(例:2ニーファイ 29:7-11を参照)。以下は、モルモン書が不可欠である理由のほんの一部です。

イエス・キリストについての もう一つの証

聖典には、キリストの教会では真理を確立するために複数の証人が用いられるという方式が示されています。モルモン書は、聖書に加えてキリストを証する、もう一つの証です。十二使徒



二つの証

「聖書はイエス・キリストについての一つの証であり、モルモン書はもう一つの証です。この第2の証がなぜそれほど重要なのでしょうか。次の図が役立つかもしれません。紙の上の一つの点を通る直線は何本引くことができますか。その答えは無限です。少しの間、一つの点が聖書を表し、その点を通るように引いた数百の直線が聖書の異なる解釈を表し、またその解釈のそれぞれが異なる教会を表すと仮定してみましょう。

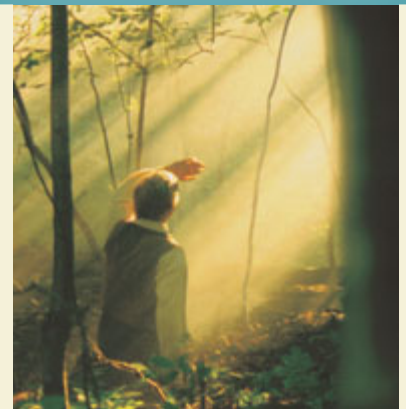
しかし、紙の上にモルモン書を表す第2の点があれば、どうなるのでしょうか。これら二つの基準点、すなわち聖書とモルモン書の間に引くことができる直線は何本でしょうか。1本だけです。これら二つの証により、キリストの教義の解釈はただ一つとなります。

さらにまた、モルモン書は、……聖書の中で教えられている教義を確認し、明確にし、統一する証の役割を果たしています。」

七十人会長会 タッド・R・カリスター長老
「モルモン書——神からの書物」『リアホナ』2011年11月号, 75



話し合いに参加する



4 月中に、神権定員会や若い女性、日曜学校のクラスでは背教と回復について学びます(自分の言語の新しいレッスン手引きがあるワードや支部の場合)。モルモン書が世に現れたことは、回復における重要な部分です。この記事を読んだ後、モルモン書のおかげで自分の生活がどのように変わったかを考えてください。気持ちを日記に書き留めたり、自宅や教会、ソーシャルメディアで証をすることにより、ほかの人にその気持ちを伝えるとよいでしょう。

定員会のマーク・E・ピーターセン長老(1900 - 1984年)はこのように述べました。「わたしたちにモルモン書が与えられたおもな理由は、すべてのことは二人か三人の証人の証言によって確定するという教えがあるからです(2コリント13:1参照)。わたしたちには聖書があります。また、モルモン書もあります。遠く離れた古代の二つの民から出た二つの声、すなわち二つの聖典が、どちらも主イエス・キリストの神性を証しているのです。」¹ エズラ・タフト・ベンソン大管長(1899 - 1994年)もこのように語っています。「最も重要な証としてモルモン書を授けてくださったのは、主御自身であることを忘れてはなりません。」²

完全な福音

時がたつにつれ、聖書から「分かりやすくて貴い部分」が「取り去られた」ことが分かっています(1ニーファイ13:40)。モルモン書はキリストの教義を明らかにして、完全な福音を再び地上にもたらしめます(1ニーファイ13:38 - 41参照)。例えば、モルモン書は、バプテスマは水に沈めて執行しなければならないことや(3ニーファイ11:26参照)、幼い子供はバプテスマを受ける必要がないことを教えてくれます(モロナイ8:4 - 26参照)。

回復された教会の要

ジョセフ・スミスは、モルモン書が「わたしたちの宗教のかなめ石」³であると証しています。それを知っているので、1830年3月26日にモルモン書が初めて一般向けに販売されてか

ら、たった11日後の4月6日に末日聖徒イエス・キリスト教会が設立されたのは偶然ではないことが分かります。この教会は、そのかなめ石である聖典を会員が手に入れることができるようになって初めて組織されたのです。

生活の中の祝福

ジョセフ・スミスはモルモン書についてこう教えました。「人はその教えを守ることに、ほかのどの書物にも増して神に近づくことができる。」⁴モルモン書には、皆さんや皆さんがモルモン書を分かち合う人々の生活を変える力があります。大管長会第一顧問のヘンリー・B・アイリング管長はこのように証しています。「神の証人となるうえで、モルモン書が皆さんの人格や力に影響を及ぼすことは確かです。この書物に出てくる教義と雄々しい模範は、皆さんに勇気と導きと自信を与えてくれることでしょう。……祈りを込めてモルモン書を研究するなら、父なる神とその愛子を信じる信仰、そして御子の福音を信じる信仰がはぐくまれるでしょう。古代と現代の神の預言者を信じる信仰もはぐくまれるでしょう。モルモン書はほかのどの書物よりも、皆さんを神に近づけてくれます。人生を好転させてくれます。」⁵ ■

注

1. マーク・E・ピーターセン「まだ見ていない事実を確認すること」『聖徒の道』1978年10月号、100参照。
2. *The Teachings of Ezra Taft Benson* (1988年)、204
3. ジョセフ・スミス、モルモン書序文より
4. ジョセフ・スミス、モルモン書序文より
5. ヘンリー・B・アイリング「証人」『リアホナ』2011年11月号、69 - 71



ひよく
肥沃な土地で
発展する

シンディー・スミス

ウガンダ

の忠実な青少年たち



ウガンダの青少年たちが、イエス・キリストの福音を受け入れ
福音に従った生活をするにより、周りに信仰と希望が増えています。

東 アフリカの中央に、さとう
きびとバナナの木が並ぶ
なだらかな丘に恵まれた美
しい国、ウガンダがあります。ここに、
イエス・キリストの福音を受け入れ、
福音に従った生活をする備えのでき
た若人たちがいるのです。

ウガンダに初めてステーキが組織
されたのは2010年のことです。教会
は急速に発展しており、それぞれの
ワードや支部には大勢の若い男性
と若い女性がいます。

旗を掲げる、模範となる

あるワードの若い女性は、中央若い
女性会長であるイレイン・S・ダルトン
姉妹の「今こそわたしたち一人一人が
立ち上がり、世に旗を掲げ、徳に立ち返
るようと呼びかける時です」という
徳についての教えに心を動かされま
した。¹ 若い女性たちは町を一望する
丘に登り、徳の模範となるという自分
たちの約束を象徴する金の旗を掲げま
した。そして、皆で「山の上に」（『賛
美歌』2番）を歌いました。

この若い女性たちはそれぞれの義
の旗を掲げてきました。従順さにより
あかし証が強められ、人々に影響を与えてき
ました。ダルトン姉妹はこう述べてい
ます。「皆さんの義の影響力を決して
過小評価しないでください。」² この
若い女性たちの模範は、旗のごとく
世界に向かってひらめいています。

ウガンダの多くの若い女性と同じよ
うに、サンドラも1.5キロ以上歩いて
教会に行き、金曜日には集会所の掃
除を手伝い、土曜日にはセミナーに
出席しています。週日は朝5時に起
きて教科書を読んでから学校に歩い
て行き、午後6時過ぎに帰宅します。
金銭的な問題のため1年間学校に
行けませんでした。前向きな姿勢で
試練に立ち向かっています。「福音の
おかげで、確固として、揺るがずに
いられます。」

サンドラは家族で唯一の教会員
ですが、ワードで地元の孤児院の
敷地の清掃をする際に手伝うなど、

サンドラ





教会での奉仕を両親は支援しています。家族は、サンドラがなかなか解決できない問題に直面しても福音のおかげで強くられるのを目の当たりにしています。サンドラはその強さの源について考え、こう言います。「教会に行くと、神の武具を身に着けているような気持ちがします。」(エペソ 6:11-17 参照)

ごく最近改宗したスーザンは教会が大好きです。南スーダン出身のスー

ザンの家族は、困難を逃れ、ウガンダで宣教師に出会う機会に恵まれました。難民であるスーザンは福音に平安と守りを見いだしました。日曜日には弟や妹、さらには教会員でない10人のほかの子供たちを連れて教会に通っていました。家族の一人の予期せぬ死により南スーダンに戻り、地元教会が設立されるのを待っています。スーザンもサンドラも困難に直面していますが、神に頼り、イエスキリストの福音に従って生活することにより得られる祝福を享受しています(アルマ 32:6-8, 43 参照)。

伝道に出るための犠牲

ウガンダの若い男性たちは幼いころにサッカーを始めます。枝を寄せ集めてしっかりしばったものをボール代わりに使います。デニスはごく幼いころから運動神経がよく、奨学金を

いちばん上——
ステーキのファイヤサイドに集う青少年

上——
ウガンダの難民スーザン(中央)は、福音に平安を見だし、弟や妹、そのほかの子供たちを教会に連れて行きました。

中央——
このワードの若い女性は、楽しみながら「成長するわたし」に取り組んでいます。

右——
デニスは、福音を宣べ伝えるために、プロサッカーチームへの入団を断念しました。デニスをはじめとする祭司定員会の青少年たちは、伝道に出るために様々な犠牲を払い、試練を克服しました。





もらって高校のチームでプレーしました。高校を卒業すると、プロのチームから、賃金と住居、食事を提供するという申し出を受けました。それは夢の実現を意味していましたが、デニスはその年に伝道に出る計画の妨げとなると思いました。



天の御父から望まれていることを行いたいというデニスの望みはとても強かったため、伝道に出るときになってチームに残るといふ誘惑にあうことさえ望みませんでした。大勢の人がデニスの選択に疑問を投げかけましたが、デニスはそれが自分のためにもほかの人のためにも正しい決断だったことを確信しています。「二人の弟と妹はバプテスマを受けたばかりです。妹が福音を聞くとは思いませんでした。神様がわたしの家族の中で奇跡を行われるのを目の当たりにすると、わたしは将来に明るい希望を持つことができます。」

デニスのワードの若い男性たちは毎週『わたしの福音を宣べ伝えなさい』を学習しています。彼らはチームのように専任宣教師と緊密に働きながら、友達を日曜日の集会や、バス

ケットボールやサッカーなどの週日の活動に連れて来ます。祭司たちは、友達や、宣教師とともに教えた人たちにバプテスマを施してきました。何年にもわたり、この若い男性のチームはワード全体を強め、デニスを含め4人がケニア・ナイロビ伝道部への召しを受け取りました。

彼らは十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老の「宣教師推薦書を提出するずっと前から、……宣教師になる」という勧告に従ってきました。³ほかにひけを取らない、定員会というチームとして、ともに働くことによりその勧告に従ってきたのです。

4人の宣教師は皆、伝道に出るために様々な試練を克服しました。ウィルバーフォース兄弟はこう説明します。「わたしは〔費用の問題で〕伝道に出るといふ希望をほとんど失いかけていましたが、マタイ書6章19節-20節『あなたがたは自分のために、……地上に、宝をたくわえてはならない。むしろ自分のため、……天に、宝をたくわえなさい』という聖句を読みました。そして勤勉に一生懸命努力して、専任宣教師として奉仕するという目標を達成することができました。わたしは伝道活動が大好きです。まず神の王国を求めることに勝ることはほかにありません。」

将来への希望

ウガンダの青少年は、将来に大きな希望を抱きながら、この地に神の王国を築く手助けをしています。東アフリカには神殿がありませんが、青少年は遠くの神殿で結婚する日を待ち望んでいます。あるとき、神殿参入の備えに

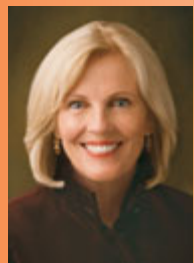
焦点を当てたステーキの活動が行われました。活動の終わりに、ステーキ会長会の一人がこう証しました。「神は皆さんを愛しておられます。皆さんはウガンダの教会の将来です。」この義にかなった青少年たちはすでに大きな影響を与えています。

ウガンダの若い男性と若い女性は、永続する祝福のためにこの世のものを犠牲にしています。彼らは信仰の種を植え、注意して養いを与えています(アルマ32:33-37参照)。たくさん実のなった木(アルマ32:42参照)のように、この青少年たちはこの肥沃な土地で福音の喜びを分かち合っているのです。■

注

1. イレイン・S・ダルトン「徳に立ち返る」『リアホナ』2008年11月号, 80
2. イレイン・S・ダルトン「リアホナ」2008年11月号, 80
3. デビッド・A・ベドナー「宣教師になる」『リアホナ』2005年11月号, 45





真の友とは？

中央若い女性会長
イレイン・S・ダルトン

こ
今^ん 日^{にち}のテクノロジーで結ばれた世の中では、友の定義がこれまでとは変わりました。今日、わたしたちは大勢の「友」がいるように思うかもしれませんが、そのとおりです。わたしたちは確かに多くの知人や、現在および過去の友人、さらには直接会ったこともない人を友と呼び、その人たちに関する情報を得たり、彼らの身に起こっていることを常に把握できたりすることを楽しみとしています。

ソーシャルメディアの世界では、「友達」という言葉は人との結びつき

よりも連絡先を表すために用いられることがしばしばあります。皆さんは「友達」にメッセージを送ることができますが、それはだれかと一対一の関係を築くこととは異なります。

時折、友達のリストを持つことに夢中になることがあります。わたしたちは友であることに焦点を当てるべきなのかもしれません。

友であるということには、様々な定義があります。わたしは、十二使徒定員会のロバート・D・ヘイルズ長老が、友人とは何か、そして友人が生活

にもたらす大きな影響力について語った言葉を決して忘れないでしょう。ヘイルズ長老の定義は、今でもわたしの生活に影響を与えています。「友人とは、イエス・キリストの福音に従って生活するのを容易にしてくれる人々のことです。」¹ この意味では、だれかほかの人の福利を求めることが真の友情の本質です。真の友情とは自分よりもだれかを第一に考えることです。完全に正直で忠実で、あらゆる行いにおいて清廉であることです。献身という言葉が、友情のほんとうの意味を理解するうえで役立つでしょう。

娘のエミは15歳のときに、どのような友人を求めるかを決めました。ある朝、わたしはエミのモルモン書のアルマ書48章が開いているのに気づきました。エミは司令長官モロナイについて説明している節に印を付けていました。「モロナイは屈強で勢いのある人であり、完全な理解力を備えた人であり……また彼は、確固としてキリストを信じた人であ〔つ〕……た。」(11, 13節) エミは余白にこう書き込んでいました。「モロナイみたいな人とデートして結婚したい。」

エミと交流があった若い男性、そして16歳になりデートをするようになった男性の人となりを見て、わたしはエミ自身がこれらの資質の模範となっており、ほかの人が神の



息子、神権者、将来の父親や指導者としてふさわしい生活を送れるよう助けられていることが分かりました。

真の友は、かかわる人々が「もう少し高い所に立ち、……もう少し良い人間にな〔れる〕」² よう影響を与えます。皆さんは、特に若い男性が、立派な宣教師として奉仕する備えができるよう互いに助け合うことができます。道徳的な清さを保てるよう互いに助け合うことができます。皆さんの義にかなった影響力と友情は、皆さんがかかわる人々だけでなくその子孫までも永遠にわたって左右するのです。

救い主はその弟子を友と呼び、このように言われました。

「わたしのいましめは、これである。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互^{たがひ}に愛し合いなさい。

人がその友のために自分の命を捨てること、これよりも大きな愛はない。

あなたがたにわたしが命じることを行うならば、あなたがたはわたしの友である。

わたしはもう、あなたがたを僕^{しもべ}とは呼ばない。僕は主人のしていることを知らないからである。わたしはあなたがたを友と呼んだ。わたしの父から聞いたことを皆、あなたがたに知らせたからである。」(ヨハネ 15:12-15; 強調付加)

皆さんがイエス・キリストの福音に従って生活し、福音を伝えるときに、人々は皆さんに引き付けられ、皆さんの友になりたいと望むでしょう。ソーシャルメディア・サイトで連絡を取るだけではなく、救い主が言葉と模範を通して示してくださったような友になりたいと望むのです。だれかの友となり

自分の光を輝かそうと努めるならば、皆さんの影響力は皆さんがかかわる多くの人の生活に祝福をもたらすことでしょう。預言者や聖典に出て来る模範が示しているような友となることに焦点を当てることにより、皆さんは幸福になり、世に良い影響を与え、いつの日か真の友情について聖文に記されている栄えある約束を受けることでしょう。「ここでわたしたちの間にある交わりが、そこでもわたしたちの間にある。ただし、その交わりには、わたしたちが今享受していない永遠の栄光が伴う。」(教義と聖約 130:2) ■

注

1. ロバート・D・ヘイルズ、
"This Is the Way;
and There Is None Other Way,"
Brigham Young University
Speeches of the Year,
1981 - 82 Speeches (1982年), 67
2. ゴードン・B・シンクレイ
「すばらしい生き方を求めて」
『リアホナ』1999年9月号, 8

友情についての大切な概念

「あなたと価値観を共有し、高い標準に従った生活を送るために強め合い励まし合える友達を選んでください。

良い友達を持つには、あなた自身が良い友達になってください。……

周囲の人と友達になろうとするとときに、あなたの標準に関して妥協しないでください。」

『若人の強さのために』(小冊子, 2011年), 16



123456789101112131415161718192021222324252627282930313233343536373839404142434445464748495051525354555657585960616263646566676869707172737475767778798081828384858687888990919293949596979899100

わたしはこのようにして知りました

救いへの わたしからの招き

エマーソン・ホセ・ダ・シルバ

少年時代、わたしはたくさんの宗派を訪ねましたが、皆、聖書を異なって解釈していたので混乱してしまいました。その中の幾つかに見られた不敬なものに嫌けがさして、集うべき教会を探すのをあきらめてしまいました。

数年後、友達のクレートン・リマが末日聖徒イエス・キリスト教会のバプテスマを受けました。彼とは仲良しでしたが、このことは教えてくれませんでした。しかし時がたつにつれて、わたしは彼の中の変化に気づくようになりました。日曜の朝はたいてい一緒にサッカーをするために彼の家に行きましたが、彼はいつも留守でした。日曜日にはいないことが2、3回続きました。とうとうクレートンは、日曜日にはもうサッカーができないとわたしに言いました。なぜ



なら彼は主の日を大切にしていたからです。「この教会は君をおかしくしたね」と、わたしは言いました。

それからクレートンは教会に招いてくれるようになりました。わたしはまだ宗教には幻滅していたので言い訳をしていました。10か月の間、クレートンは宣教師を呼んでわたしに教えようとしたのですが、いつも辞退したり、忙しいからと断ったりしました。でも彼は絶対にあきらめなかったのです。

6月のある日、彼は教会のダンスにわたしを誘いました。わたしは「食べ物^{たべもの}はただで、女の子はたくさんいるの?」とからかってやりました。彼は笑いながら「そうだよ!」と言いました。

わたしは食欲に負けたことを認めます。わたしは教会に行き、そこが好きになりました。みんなから歓迎され、大いに食べて、集会に集うことに興味を持つようになりました。日曜に教会に着くと、たくさん
の^{あかし}人たちに会い、彼らの証を聞きました。

モルモン書^{モルモン}のことは分かりませんでした。いろいろな教員が証を述べる^{みたま}とき、主の御霊を感じました。「モルモン書が真実であり、この教会はイエス・キリストの教会であり、ジョセフ・スミスは神に召された預言者であることを知っています。」こんなに良い気持ちを感じたことはありませんでした。宣教師とはまだ会いたくありませんでしたが、証会には感動しました。

次の週、クレートンはまたわたしを教会に招きました。わたしはほかの用事があったので行けませんでした。行けるかどうか分からないと言ったとき、彼の顔が曇ったのを感じました。

しかし日曜の朝になると、教会に行きたい気持ちで目が覚めました。眠かったのですが6時50分に起き、支度をしてクレートンが来るのを待ちました。彼はわたしがきちんと支度をして待っていたのを見てびっくりしました。その日はビショップが神権について教えてくれました。わたしは御霊を強く感じ、宣教師のレッスンを受けなければならないという気持ちになりました。若い男性の集会が終わるころには、自分はバプテスマを受けるだろうということが分かりました。

集会が終わるとクレートンに言いました。「ほくバプテスマを受けたい!」

彼はわたしが冗談を言っているのだと思いました

が、それから次のように言いました。「長老たちを呼んだら、会ってくれる?」わたしは、うんと言いました。

わたしはすばらしい宣教師たちに教わりました。回復のメッセージを聞いたときには、わたしはバプテスマを受けるときであるという、もっと強い確信を持ちました。でも自分でモルモン書が真実であることを知りたかったのです。長老たちはわたしのモルモン書のモロナイ10章3-5節に印を付け、それが真実かどうか神様に祈って尋ねるように勧めました。

次の夕方、自分がまだモルモン書を読んでいないことに気づきました。読み始めると、とても強い御霊を感じました。わたしは祈りました。そして祈り終わる前にモルモン書が真実であることを知りました。祈りの答えを下された神様に感謝します。わたしは2006年7月にバプテスマを受けました。

後に、わたしはブラジルのクイアバ伝道部で宣教師として奉仕し、友達のクレートンはブラジルのサンタ・マリア伝道部で伝道しました。わたしたちはクレートンが自分にしてくれたことをしました。つまり人々をキリストのもとに来るように招き、彼らがイエス・キリストを信じ、悔い改め、バプテスマを受け、聖霊の賜物^{たまもの}を受けて回復された福音を受け入れる助けをするのです。これがまさに救いへの道なのです。

救い主がすべての人を「わたしのもとにきなさい」と招かれたように(マタイ11:28)、この福音を学べるようにいつも友達や親戚^{しんせき}を招きましょう。わたしはこの教会がイエス・キリストの教会であり、今こそすべての人を主のもとに来るように招く時であることを知っています。■

イラスト/ロジャー・モックラス



自分が**改宗**したかを知る10の方法

タイラー・オートン

わたしは神権会で、アロン神権の目的の一つは「イエス・キリストの福音に帰依し、その教えに従って生活すること」¹だと習いました。わたしは「イエス・キリストの福音に帰依する」という意味がよく分かりませんでした。両親や兄、姉たちにその意味を尋ね、自分が改宗したかどうか分かるたくさんの方法について話し合いました。

ほかにももっとあると思いますが、わたしたちが思いついた10の方法を挙げてみます。改宗は一生をかけてのものなので、今はこれらすべてのことについて完全である必要はないのですが、自分たちが成長しているのかを知る手だてとなります。

1. 改宗すると、なすべきことを**知る**だけでなく正しいことをしたいという**望み**を持つようになります。自分が捕まったり、罰を受けるのを恐れて、間違っただけでは十分ではないのです。真の改宗をすると、正しいことを心から選びたいと思うのです。

2. 改宗したというもう一つのしるしは、間違っただけでは十分ではないのです。真の改宗をすると、正しいことを心から選びたいと思うのです。**2.** 改宗したというもう一つのしるしは、間違っただけでは十分ではないのです。真の改宗をすると、正しいことを心から選びたいと思うのです。アンタイ・ニーファイ・リーハイ人はこのことの偉大な模範です。彼らはキリストの福音に改宗すると、「神に仕え、神の戒めを守るという聖約を神と交わし」ました（モーサヤ 21:31）。ニーファイ人がベニヤミン王から学んだように彼らは「悪を行う性癖をもう二度と持つこと」がなくなりました（モーサ

きつい仕事も

やってみる価値があります

やり続けるなら、自分が成し遂げられる事柄について驚くでしょう。

(『若人の強さのために』(小冊子, 2011年), 40 - 41 参照)



デニー おばあちゃんの 小さな

宣教師

エミリア・マリア・ギランイズ・コレア

「人が聖霊の力によって語るときには、聖霊の力がそれを人の子らの心に伝える……。」(2ニーファイ 33:1)

ビートルはデニーおばあちゃんの家にお母さんと妹と住んでいました。ビートルのおばあちゃんは病気で何週間も寝たきりでした。自分の部屋で独りぼっちでした。

ビートルはデニーおばあちゃんの話し相手になることを決めました。毎日学校から帰ると『リアホナ』を持っておばあちゃんの部屋に行き、こどものページからお話を読んであげました。

家にあった『リアホナ』を全部読んでしまうと、ビートルはおばあちゃんにモルモン書と聖書を読んであげるようになりました。デニーおばあちゃんは教会の会員ではありませんでしたが、ビートルが読むのを聞くのが好きでした。福音を学ぶのがうれしかったのです。

おばあちゃんはたくさん質問しました。ビートルは答えが分からないとき、プライマリーの先生に聞いたり、聖文を調べたりしました。おばあちゃん

はビートルを彼女の小さな宣教師と呼びました。

デニーおばあちゃんはビートルからたくさん学んだと言いました。病気が治ったら教会と一緒にいくと約束してくれました。学ぶことにより、早くよくなって福音についてもっと知りたいと思うようになったのです。

おばあちゃんがよくなったとき、彼女は約束を守ってくれました。ビートルから習ったことをもっと知るために一緒に教会に行きました。おばあちゃんは間もなくバプテスマを受け、確認を受けました。ビートルは福音が真実であることをおばあちゃんが学ぶのを助けたのです。

ビートルは大きくなると、ポストン・マサチューセッツ伝道部の専任宣教師になりました。出発する前にデニーおばあちゃんと神殿に入りました。■

エミリア・マリア・ギランイズ・コレアはブラジルの連邦区に住んでいます。



とく べつ な しょう じん
特別な証人



じゅうに しとていじんかい
十二使徒定員会
M・ラッセル・
バラード長老

じゅうに しとていじんかい かいいん
十二使徒定員会の会員は、
イエス・キリストの
とくべつ しょうじん
特別な証人です。

きょうかい めいしょう 教会の名称は なぜそんなに なが 長いのでしょうか

イ エス・キリストご自身がこの
教会の名前を宣言しておら
れます (教義と聖約 115:4
参照)。

イエス・キリスト教会という言葉は、
これが主の教会であることの宣言です。
末日という言葉は、この教会はイエス・

キリストが地上におられたときに設立
された〔教会と〕同じ教会であり、こ
の末日に回復されたものだということ
を説明しています。
聖徒とは、教会員が主に従ってその
御心を行おうと努めていることを意味
します。

この教会の会員は『モルモン書』を
信じているためにモルモンと呼ばれて
きました。しかし会員は可能なときは
いつでも教会の正式名称を使うべき
です。■

「名前の大切さ」『リアホナ』2011年11月号、79
- 82 から



ダーシー・ジェンセン

1893年にソルトレーク神殿が完成したとき、末日聖徒は大変喜びました。この神殿を建設するのに40年もかかったからです。この神殿の建設のために、子供たちも献金しました。そこでウィルフォード・ウッドラフ大管長は、子供たちも出席できる特別なほうけん式を5回開くことにしました。

今日神殿は世界中のあちこちにあり、そして現在も子供たちは神殿の完成を祝う手伝いをしています。昔と今の子供たちがどのようなことをしているか見てみましょう。■

ダーシー・ジェンセンは、アメリカ合衆国カリフォルニア州に住んでいます。

ソルトレーク神殿のほうけん式には、1万2千人以上の子供たちが集まりました。この写真にあるシュガーハウスワードの子供たちは、鉄道を利用してやって来ました。



この入場券は、ソルトレーク神殿の特別なほうけん式への出席を許可された16才以下の子供たちに配られたものです。神殿の中では、大管長会や十二使徒が子供たちに向けて話をしました。



神殿は改装後、改めてほうけんされることがあります。アラスカ州アンカレッジ神殿が再ほうけんされたお祝いで、初等協会の子供たちは、点灯したろうそくを手に歌をひろいました。



現在アリゾナ州ギルバート神殿が建設されています。そこで、アリゾナ・ギルバート・ハイランドステーキの初等協会の子供たちは、毎週ワードのだれかに奉仕をする目標を立ててがんばっています。

カリフォルニア州サンディエゴ神殿が建設されていたとき、メキシコの初等協会の子供たちは、神殿のために色あざやかな敷物を作りました。ほうけん式で教会幹部たちはその敷物の上に立って、定礎式(隅石をすえつける儀式)を行いました。



し ん で ん 神 殿 を 祝 う



カナダのマニトバに住む
初等協会の子供たちは、
車で3時間かけて
サスカチュワン州レジナ神殿に行きました。
そして神殿のかべに手をふれて、
いつか神殿に参入すると決意しました。

ウクライナ・キエフ神殿のオープンハウスで
初等協会の子供たちは、
「神殿に行きたいな」を歌って
訪問者をかんげいしました。



ガーナ・アクラ神殿が
ほうけんされる前に行われた文化の祭典で、
西アフリカの各地から集まった
800人をこえる初等協会の子供たちは
「神の子です」を歌いました。



ゴードン・B・ヒンクレー大管長が
ナイジェリア・アバ神殿を
ほうけんするために訪れたとき、
初等協会の子供たちが
歌を歌ってかんげいしました。



どの神殿にも、ほうけんされた年を表す隅石があります。
ほうけん式で教会幹部はモルタルを使って隅石をすえつけます。
アイザック・B(9才)は、ミズーリ州カンザスシティー神殿の隅石に
モルタルをぬる手伝いをしました。

神殿についての 質疑応答

なぜわたしたちに

神殿があたえられているのでしょうか

末日聖徒イエス・キリスト教会の神殿は、聖なる宮です。そこでわたしたちは永遠の真理について学び、神聖な儀式を受けます。

神殿の内部は

どのようになっていますか

神殿は、平安で、敬虔な、美しい所です。神殿の中のものすべて清潔で、整然としています。だれもが白い服を着て、静かに話します。

神殿では

どんなことが行われていますか

夫婦の結び固めや親子の結び固めが行われます。この結び固めによって、家族は永遠に一緒にいることができる

ようになります。神殿ではまた、男女ともエンダウメントと呼ばれる霊的な祝福を受けることができます。また、神殿で聖約を交わすことなく亡くなった人に代わって、エンダウメントと結び固めの儀式を受けることもできます。

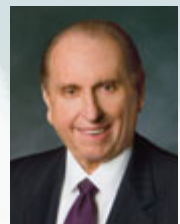
神殿ではほかに

どんなことが行われていますか

結び固めやエンダウメントのほか、神殿ではそのほかの儀式も行われています。生前教会に加わることができなかった人に代わって、バプテスマと確認の儀式を受けることができます。12才になって、神殿に参入するのにふさわしく生活していれば、福音を知らずに亡くなった人に代わって、あなたもバプテスマと確認の儀式を受けることができます。

家族がまだ神殿に参入したことがない場合はどうなるのでしょうか

天のお父様は、あなたとあなたの家族をよくご存じで、愛しておられます。そしてすべての人が神殿の儀式の祝福を受けるように望んでおられます。神殿に参入するのにふさわしく生活してください。いつか神殿でエンダウメントを受け、神殿結婚をするという目標を今立ててください。そうするならば天のお父様は、あなたとあなたの家族を祝福させていただきます。■



「10代の若い友人のみなさん、常に神殿を視野に入れておきましょう。神殿のドアを通して、神聖で永遠の祝福を受けるさまたげとなることを一切してはなりません。」

トーマス・S・モンソン大管長
「聖なる神殿——世界に輝くかがり火」
『リアホナ』2011年5月号, 93

家族は永遠に

(簡略版)

詞：ルース・ミューア・ガードナー
曲：パンジャ・Y・ワトキンス

明るく ♩ = 80-96

1. わ た し の す て き な か ぞ く の の ぞ み
2. わ た し の か ぞ く の の ぞ み は ひ と つ

か た く い つ ま で も む す ば れ た い
か た く い つ ま で も む す ば れ た い

Chorus

しゅ は そ の ね が い か な え み ち び き た も う か

ぞ く を み な む す ぶ み ち を しゅ - は お し え た も う しゅ

は お し え た も う

詞・曲 © 1980 IRI. 編曲 © 2012 IRI. 版權所有。
教会あるいは家庭における一時的または非営利目的の使用に限り、複製することを許可する。

イエス・キリストは まっじつに しゅの 教会を かいふく された



今月の 初等協会の テーマについて もっと 学ぶために
この レッスンと かつどうを つかうと よいでしょ。

た からさがしに 行くことを そう
ぞうしてみてください。どこに
たからさがしに 行きますか。
どうすれば たからが 見つかる でしょう
か。たからのはこは あるでしょうか。中
には 何が 入っているでしょう。

うつくしい ほうせきや こうかな お金
が 入っている たからのはこも あるで
しょう。でも 末日聖徒イエス・キリスト
教会の かいいんである わたしたちには、
もっと ちかのある たからが あります。
それは、イエス・キリストの ふくいんです。

この たからを 知らない人が たく
さん います。だから わたしたちは、で
きるだけ 多くの人に この ふくいんを
分かち合うようにしなければなりません。

イエスさまと しとたちが なくなったあと、
バプテスマや、しんけんの けんのう、
しんでん、生ける よげんしゃ、せいさん
など、大切な ふくいんの 教えと ぎしき
の いちぶが かえられたり、うしなわれて

しまいました。

しかし、よげんしゃ ジョセフ・スミスに
よって、こうした ふくいんの たから
が すべて、かいふく されたのです。
しんりを 知りたいた 思った ジョセフ・
スミスが、せいなる 森で いのっている
と、天のお父さまと イエス・キリストが
ジョセフの 前に すがたを あらわされ
ました。

後に、ジョセフは きんばんを うけと
り、それを ほんやくして モルモン書を
かんせいさせました。モルモン書には、
わたしたちにとって たからとなる 教え
が もりこまれています。この 書物には、
いちどは うしなわれた しんりが おさ
められているからです。ふくいんの しん
りが あたえられている わたしたちは、
たかさんの しゅくふくを うけます。

なんと とうとい たからでしょう! ■

うた 歌と せいく

- 教義と聖約 35 : 17
- 「聖なる 森」『フレンド』2001年4月
号, 9 (または ふくいんの かいふく
に かんする ほかの 歌)

はな あ 話し合いましょう

たからである イエス・キリストの ふくいんが
あなたの かそくに どのような しゅくふくを
もたらしてくれているかを 話し合いましょう。

ふくいんの つまった たからの はこを 作りましょう

たからの はこを きりとり、下の 絵に
あるように おり合わせて はこを 作り
ましょう。コインには ふくいんから えら
れる たからが しるされています。その
コインを 切りとり、はこの なかに入
れます。きかいが あるたびに はこの
なかを 見て、ふくいんの しゅくふくを
思い出しましょう。



教会が組織された場所



教会機関誌

ジャン・ピンボロー

教会歴史上重要な場所を
探検してみよう!

教会が最初に組織された場所
を見たいと思えば、マギー・E
とリリー・Eの場合、遠くに行
く必要はありません。二人がニュー
ヨーク州フェイエットで毎週日曜日
に通っている教会堂のとなりにその場所
があるからです。

教会が組織されたのは、教会堂では
なく一軒の丸太小屋でした。1829年



預言者ジョセフ・スミスは、ホイット
マー家族と住むためにそこに移り住ん
でいたのです。当時の家はもうありませ
んが、同じ場所にこの丸太小屋が建てら
れています。

マギーとリリーが集っている教会の建物
には訪問者センターがあって、ホイットマー
家の内部が再現され、そこで起こった特別
な事柄に関する展示もあります。■

1. ジョセフ・スミスは、ここでモルモン書の翻訳
を終えました。





2. 家からほど近いところで、3人の人が天使モロナイと金版を自にしました。この3人は、金版をその目で見て証したことから、三人の証人と呼ばれています。モルモン書の最初の部分に3人の証がのっています。



3. 1830年4月6日、ある特別な集會に出席するためにおよそ60人の人が集まりました。その場でジョセフ・スミスは正式に教會を組織し、聖餐の祝福とパスをしました。これが最初の聖餐會です。

バプテスマの今昔

11才のマギーと9才のリリーは、教會の最初の會員たちがバプテスマを受けた場所の近くにあるフォントでバプテスマを受けました。

二人ともバプテスマを受けるのをとても楽しみにしていました。リリーはバプテスマを受ける前に、ビショップから面接を受けました。「わたしはビショップから、預言者に対する証を持っているか、自分の一を納めているか質問されました」とリリーは言います。

二人の少女には、バプテスマの日の良い思い出があります。「氷から上がったとき、自分は何もできると思いました」とマギーは言っています。

二人は特別な日に感じたことを記録に残すために日記帳を手に入れました。



4. 集會の直後、ジョセフ・スミスの両親とほかの何人かの人々が外でバプテスマを受けました。

マックスとミア、ちきゅうをすくう

クリス・ディーバー、アメリカがっしゅう^{こく}、テキサスしゅう

あか^{あか}い ティーシャツを^き着て、ヒーローの
マントを はおり、ヒーローごっこの
じゅんぴが できた マックスが、^{いもうと}妹の
へやに ^{はい}入^いって行きました。



「おいでよ、ミア、ちきゅうをすくうんだ!」と マックスが 言^いいました。



マックスとミアが いまに
行くと、かごの中が ふくで
いっぱいになっていました。

「ちょっと てつだってくれる？」
とお母さんが 言いました。

「いいよ、そうしたら
ちきゅうを すくえる
から」と マックスが
言いました。



マックスとミアは、ふくをすべて
たたみ、それを しまって、お母さんの
おてつだいをしました。

つぎに マックスは、ゆかに ごみが
おちているのを 見つけました。「ごみを
ぜんぶ ひろって、ちきゅうを すくおう」
と マックスが 言いました。



マックスとミアは、^{いえじゅう}家中を^{はし}走り
^{まわ}回って、^み見つけたごみをすべて
かたづけました。

二人は、お母さんが^{だいどころ}台所の^{ゆか}ゆか
を^みそうじしているのを^み見つけました。
「おてつだいするよ」とマックスが
い言いました。

マックスがゆかを^{はき}はき、
ミアが^{ちりとり}ちりとりを^もって
ごみを^ああつめました。



「さあ、ちきゅうを^すすく
い^いに行こう」とマックスが
い言いました。

すっかり^いきれいな^ななった
家の中を^み見回しながら、
お母さんが^かマックスとミア
を^いだきしめてこう言いま
した。「もう^おちきゅうを
すくったと^{おも}思うわよ。」■

色をぬりましょう



みず ^{うへ} ^{ある} 水の上を歩かれる イエスさま

「でしたちは、イエスが ^{うみ} ^{うへ} ^{ある} 海の上を歩いておられるのを見て、ゆうれいだと言っておじまどい、きょうふのあまり ^{こえ} さげび声をあげた。

しかし、イエスはすぐに ^{こえ} かれらに声をかけて、『しっかりするのだ、わたしである。おそれることは ^い ない』と ^い 言われた。』(マタイ 14:26 - 27)

教会のニュース

教会のニュースおよび出来事についてもっとお知りになりたい方は news.lds.org にアクセスしてください。

世界指導者訓練——新しいアプローチ



**L・トム・ペリー長老、
ドナルド・L・
ホールストロム長老、
およびティーン・
M・デービーズ
ビショップが、
神権の鍵を
行使することの
重要性について、
パネル
ディスカッションを
進めていく。**

これから数か月の間に世界中の教会員は、
世界指導者訓練に関する靈感に満ちた
新しい取り組みに参加することになる。

過去の訓練集会と異なり今年の世界指導者訓練は、ワードおよびステークの指導者のための一行事としては放送されなくなる。代わりに、今年から、すべての指導者、会員、および家族が、9つに分けられた部会をDVDやLDS.orgで視聴して話し合うように奨励されている。

訓練の焦点は「神権を通して家族と教会を強める」である。訓練では、大管長会および十二使徒定員会会員が、そのほかの中央幹部および中央役員とともに、以下の事柄について靈感に満ちた指示を与える。

- 神権の力を通して、家族がどのように力と平安を見いだすことができるか。
- 神権による祝福をすべての家族が経験するのを助ける方法。
- 神権の鍵を持つ人々が家庭と家族をどのように強めるか。
- キリストのような方法で教え導く方法。
- 光と真理の下で子供たちを育てる方法。

すべての教会のユニットにDVDが配られ、ワード

およびステークの評議会は全容を視聴しなければならない。その後、訓練での指示がワードおよびステークの会員に益となるようにする方法をともに評議する。

集会とクラスで、会員はそれぞれの部会のDVDを見て話し合うことができる。家族と個人は学習の質を高めるために、wwlt.lds.orgでそれぞれの部会のDVDとそのほかのリソースを見ることができる。

あらゆる状況において、訓練の最も効果的な部分は、DVDが終わり、話し合いが始まる時に起こる。指導者、会員、および家族が、聞いたことと感じたことを深く考え、共有し、そして証するときに、聖霊が靈感を与えてくださり、彼ら自身の状況の中で学んだ教えをどのように実践したらいいのかを教えてください。これらの経験を通して、この世界指導者訓練は世界中の家族と教会を強めることができる。

「**デイス・イズ・ザ・ブレース記念公園**」にある

メアリー・フィールディング・スミスの家の外に立ち、

M・ラッセル・バラード長老、リンダ・K・バートン姉妹、

ロナルド・A・ラズバンド長老、イレイン・S・ダルトン姉妹、

ローズマリー・M・ウィクソム姉妹、

そしてゲーリー・E・スティーンソンビショップが、

すべての家庭に神権の祝福をもたらすことについて話し合う。



宣教師を増やす要請に応えて——

家庭と教会で伝道精神を培う

教会のニュースと出来事

ヘザー・ウィットル・リグリー

アルゼンチン・ブエノスアイレスステーク、パルケチャカプワードのビクター・ノガレスビショップは、ワードの37名の若い男性と若い女性の写真で埋め尽くされた掲示板の前に座っている。その中の一人が伝道に出ると、その人の写真の横にメモをはり付ける。

「ワードの若者たちは、わたしのオフィスに来て写真とメモを見てとても興奮します」と彼は語る。「伝道に出る備えをする動機づけになっています。」

ブエノスアイレスにあるこのワードは、伝道活動の精神を持つ良い例だ。2012年の最初の6か月間に、14名の改宗者を含む19名の青少年が8か国で専任宣教師になった。伝道に出る資格のある青少年の8割以上が伝道に出る決意をしている。

近年、教会指導者はさらに多くの若い人々が伝道に出るよう^のに要請した。

教会が『わたしの福音を宣べ伝えなさい——伝道活動のガイド』を発表して間もなく行われた2005年4月の総大会で、十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老は家族と指導者に、すべての青少年に自分が何者かを理解させ、教義を教えることによって伝道精神を培うことと、より多くの若い男性と若い女性が立派に伝道に出られるように準備することを勧告した（「もう一人」『リアホナ』

2005年5月号、69参照）。

2012年10月の総大会で、トーマス・S・モンソン大管長が発表した宣教師の年齢条件の引き下げは、主が御業^{わざ}を急いでおられることを思い起こさせる要因の一つである。

今日^{こんにち}、多くの家族と教会指導者はこれらのメッセージを真剣にとらえ、自分の地域における伝道活動の良き伝統を築いている。

自分が何者であるかを理解するように青少年を助ける

「どのようにしてそんなに多くの青少年が進んで伝道に出たいと思うように備えることができたのですか」という質問に対してノガレスビショップはこう答えた。「ビショップに召されたときに最初に気になったのは、ワードの若者たちでした。そしてわたしはワードのほかの指導者たちに、わたしたちは彼らの生活に深くかかわる必要があることを明確にしました。」

例えば、チャカプコから伝道に出るすべての宣教師は、伝道に出る前にワードで責任を果たしていた。新会員とあまり教会に来ていない会員は、よく教師として奉仕するように勧められ、それが福音を教える備えとなった。

ノガレスビショップは、青少年を地元の専任宣教師に同行させることにより、伝道精神^{はぐく}を育むようにした。

地元の教会指導者と会員たちが

ワードの青少年のために力を尽くすにつれて、伝道精神が非常に高まる状況を見ることができている。

伝道精神がある家族

アメリカ合衆国ユタ州ドレーパーに住むガス・アンドラス兄弟とエロイーズ・アンドラス姉妹は、伝道精神がある家族を持つことがどういうことかを知っている。17人の孫が伝道に出ており、夫妻自身も6回伝道に出ている。

家族の中で伝道奉仕の精神を培うためには、子供が小さいときから始めなくてはならないとアンドラス兄弟は語った。

アンドラス姉妹もそれに賛同し、「子供たちが伝道に出るという期待について黙ってはいけません。子供や孫に伝道について話すときには、疑問形で話すのではありません。もし伝道に出るとしたらではなく、伝道に出るときには、と話すのです」とアンドラス姉妹は語った。

伝道活動の模範を示すことによって、青少年に自分が何者であるかを教えることも重要である。アンドラス夫妻の末っ子が伝道にちょうど出ようとしていた1980年に、夫妻も最初の伝道の召しを受けた。

伝道の備えの助けとなるプレゼントを一人の孫息子がアンドラス夫婦からもらったあとに、彼らに手紙を書いた。「彼はプレゼントに感謝しましたが、『それ以上に模範を示してくれたことに感謝しているよ』と書いてくれました」とアンドラス姉妹は語った。

教義を教える

「青少年は、イエス・キリストの福音



ワードの青少年たちと現在伝道に出ている宣教師たちの
写真がはられている掲示板の前に立つ、ビクター・ノガレスビショップ。

が理解できるように、両親や教会の指導者や教師が助けてくれることを期待する権利があります」とバラード長老は述べている。「聖霊が青少年の心に真理を確信させ、その心の中にあるキリストの光を輝かせてくださいます。そうすれば、十分に備えられた宣教師をもう一人送ることができます。」(M・ラッセル・バラード「もう一人」, 71)

プエノスアイレスから約6千マイル(9,600キロ)離れた、アメリカ合衆国アイダホ州ボイシ近郊のホースシューベンド支部でも、家族や指導者が青少年に福音を教える努力を強化するにつれて、伝道活動がすばらしい勢いで高まった。

75名の小さな支部から、9名の若者が伝道に出ている。

十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老は、伝道に出ることの理由と利益を強調してこう言った。「……すべての宣教師は、人々の人生をより良くするという望みのみをもって奉仕します。伝道に出る決断は、その宣教師、将来の^{はんりよ}伴侶、そしてこれから来る世代の子孫の霊的な運命に影響を与えます。伝道に出たいという望みは、人の改宗、ふさわしさ、備えからわきおこる自然な思いです。」(「宣教師に尋ねてください。皆さんを助けることができます。」『リアホナ』2012年11月号, 18)

アイダホ・エメットステーク会長のマーティン・ウォーカー兄弟は賛同してこう述べた。「伝道に出るということは、若者が何世代にもわたって影響を及ぼす道へ入ることを意味します。

ステークとして、わたしたちは若者たちが伝道活動のためにあらゆる備えをできるようにしています。」

その備えの一環として、青少年に教義を教えることがある。ホースシューベンド支部の青少年は、元伝道部長が教える伝道準備クラスに毎週出席することができる。ステークで毎月行われている青少年伝道準備集会および年次アロン神権キャンプで提供されている伝道の訓練を補強する訓練をそこで受ける。

アンドラス夫妻の6人の子供の一人であるラリーン・アダムは、夫ジムとともに2007年から2009年に、デンマーク・コペンハーゲン伝道部で奉仕した。彼女は家庭で子供たちに福音を教えることの重要性について証した。

「子供たちが伝道活動について証を持つように助けるためにできる最も大切なことの一つは、家庭の夕べと家族で聖典勉強を行うことです。福音の研究と知識という強い土台を築くなら、子供たちはよりよく備え、福音についてより一層多くのことを知ることができます。」

奉仕に喜びを見いだす青年教会奉仕宣教師

教会のニュースと出来事
キャロリン・カーター

イルネスト・サラビア長老は、伝道中は毎日、黒い宣教師のバッジを付けていた。しかし、彼の伝道の召しはほかの宣教師たちとは異なる独特のものだった。サラビア長老は青年教会奉仕宣教師（YCSM）として、メキシコ・エルモシヨ伝道部で奉仕した。

「一部の若い男性や若い女性にとっては、過酷でチャレンジに満ちた伝道に出ることは賢明ではないことを付け加えておきます」と十二使徒定員会の

M・ラッセル・バラード長老は言った。しかし、彼らが伝道活動の祝福にあずかることができないわけではないことも、述べている。（『もう一人』『リアホナ』2005年5月号, 69）

十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老はこう言った。「伝道は神と人類への奉仕の行いです。」（『宣教師に尋ねてください。皆さんを助けることができます。』『リアホナ』2012年11月号, 18）そしてその奉仕を提供する多くの方法がある。

専任宣教師として奉仕する務めを免除された人々、または予定期間よりも早く帰還しなければならない宣教師たちのために、YCSM プログラムは有意義な伝道経験を提供できる。

奉仕に必要なこと

YCSM は肉体的、精神的、霊的、そして情緒的に、慎重に選ばれた召しの義務を果たせなければならない。

YCSM の割り当ては6か月から24か月まで、そして週に数日の伝道からフルタイムまで多岐にわたる。地域で奉仕する機会もあれば、家にいながら奉仕することもできる。YCSM の割り当てとして可能性があるのは、家族歴史探究、情報技術、伝道本部補佐、ビショップの倉などがある。

家族と神権による支援

両親、神権指導者、教会員は、見込みのあるYCSM が伝道の備えができるように手伝うことができる。

イライザ・ジョイ・ヤング姉妹の家族は、オーストラリア・シドニーにある教会オフィスへの送り迎えをして彼女を支援している。

香港の配送センターで働くマイケル・ヒラム長老は、「早朝セミナーの教師と若い男性の指導者が、わたしが準備できるように助けてくれました」と述べた。

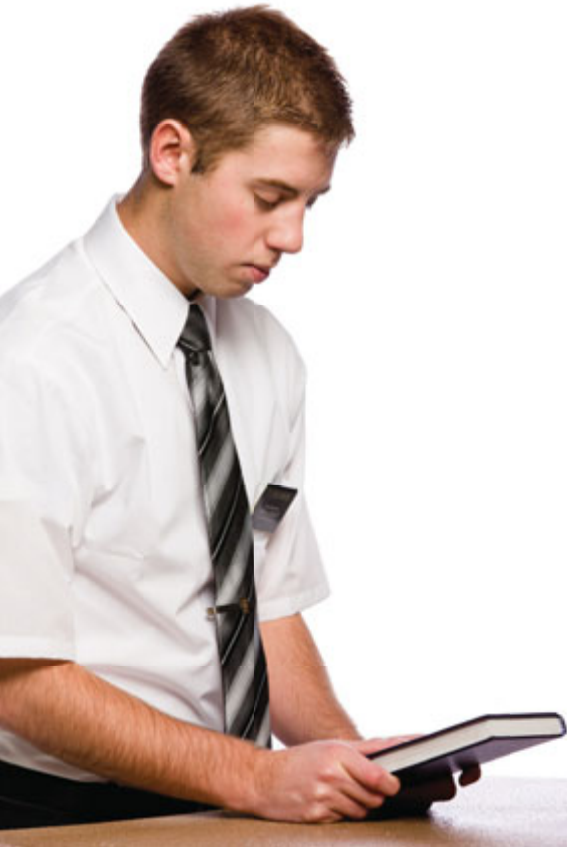
犠牲は祝福をもたらす

ヤング姉妹は、アルバイトが休みの日を教会奉仕伝道をするためにささげた。「わたしは天の御父を手伝っていると知っているの、天の御父をより近くに感じます」と彼女は言った。

霊的な祝福に加えて、教会奉仕伝道に出ることは、若い宣教師たちに社会的で専門的な貴重な機会を与える。「伝道を通して、わたしはどこでも働けることを知ることができました」とヤング姉妹は語った。（彼女はそれまで、障がい者雇用でしか働いたことがなかった。）

教会奉仕伝道に出たいと望むすべてのヤングアダルトが出られるわけではないが、教会はすべてのふさわしいヤングアダルトが伝道できるように努めている。この方法で奉仕をしたいと望む若い男性と女性はビショップまたは支部会長に話し、適切な機会を見つけることができる。

news.lds.org でもっと読むことができます。「青年教会奉仕宣教師」で検索してください。



中央若い女性および中央扶助協会の指導者、アジア地域を訪問する

ブレンダ・フランセン、アジア地域メディアスペシャリスト

デビッド・O・ヒープス、ポール・スティープنز、
およびリンダ・レイ・ポンド・スミスによる投稿

2012年11月に9日間、中央若い女性会長会第一顧問のメアリー・N・クック姉妹と中央扶助協会会長会第二顧問のリンダ・S・リーブズ姉妹が、アジア地域全体の姉妹たちを指導し靈感を与えた。

この訪問は、若い男性、若い女性、および青少年日曜学校クラスが2013年1月から使い始める新しい青少年教科課程『わたしに従ってきなさい』の発表と同じ時期に行われた。新しい教科課程は、教師が救い主がされたように教え、クラスの生徒とより強いつながりを築く助けになるように意図されている。

クック姉妹とリーブズ姉妹のアジア地域への訪問後、多くのアジアの青少年と彼らの両親は、自分たちの生活を清く改め、地域の地域社会に模範となるために、より強い決意をした。

香港では、リーブズ姉妹が青少年に「清くあり続

けるならば、だれの前でも自信をもって立つことができます」と約束した。

リーブズ姉妹の言葉に啓発された12歳のタン・カク・ケイは集会後、このように述べた。「毎日モルモン書を読む必要があることを知っています。悔い改め、義にかなった生活をするを学ぶことは、『若人の強さのために』から教わってきたことであり、そうすることで、キリストの光とほんとうの幸福がわたしを通して放たれるのです。」

インドでクック姉妹は、インド・チェンナイ地方部の新しい集会所で会員と、新しくできたインド・ハイデラバードステークの会員と会い、将来に備えるようにヤングアダルトに忠告した。「神の王国を築くための技術を得るための教育を受けてください。家族と、家族を祝福するために何ができるか、そして霊的な備えに焦点を当ててください。そうすることで、霊的な促しを受けるのにふさわしくなり、どこへ行き、何をすべきかわかるでしょう。」

インドネシアでは、リーブズ姉妹が新しくできたインドネシア・スラカルタステークの最初のステーク大会に出席して、「謙遜と愛の精神を感じました。彼らは信仰深い会員たちです」と言った。

リーブズ姉妹はそれからマレーシアを訪問し、マレーシアの扶助協会が組織として最も急を要する事項について、またどのように教会が導きと靈感を与えることができるかについて、扶助協会の姉妹たちと話し合った。

台湾でリーブズ姉妹は、地域の教会員の強さと献身について「彼らの信仰深い生活と定期的な神殿参入について知ることができて、とてもうれしいです。……会員は友人や隣人に対して愛の模範となっています」と語った。

台湾で

メアリー・N・クック姉妹と

リンダ・S・

リーブズ姉妹は、

地域幹部および

台湾の神権指導者や

会員と会った。



写真/ヤン・チエウ・ミン



世界中の青少年が
聖なる場所に立っている様子を
示している。

青少年の写真を募集

今年のミュチュアルのテーマは「あなたがたは聖なる場所に立ち、動かされないようにしなさい」(教義と聖約87:8)です。若い男性、若い女性の皆さん、『リアホナ』は皆さんが聖なる場所に立っている写真を募集しています。皆さんが家族と時間を過ごしたり、奉仕したり、伝道の業に携わったり、美術作品を造ったり、福音を研究したり、自然を探索している様子などの写真を募集しています。写真の送付方法は以下のとおりです。

- ・ 聖なる場所に立っている写真をだれかに撮ってもらう。
- ・ 高画質写真を liahona@ldschurch.org にメールで送る。
- ・ なぜそれがあなたにとって聖なる場所なのかについてのメッセージを添える。
- ・ メールに、あなたの氏名、誕生日、ワードおよびステーク(または支部および地方部)名、そして両親のメールアドレスを添えてください。

世界中から集まった青少年の写真は、近刊に掲載されます。

使徒、モロッコを訪問する

2012年12月、西アフリカのシエラレオネ

に、教会で3,000番目となるステークを設立した後、十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老は、モロッコ・ラバトの小さな遠隔地にある支部を特別に訪問した。

日曜の夜に行った特別ディボーションでホランド長老は、ユニットの会員数や距離にかかわらず、世界中の教会員一人一人に対する教会指導者の愛を伝えた。

「皆さんは忘れられていません。皆さんは、主がこの偉大な最後の神権時代にイスラエルの集合を急がれている、驚くべき業の一部なのです。」長老はこう語った。

ホンジュラス・テグシガルバ神殿が 奉獻される

文化式典と3週間のオープンハウスが終わった後の2013年3月17日の日曜日に、ホンジュラスとニカラグアにある教会の全ユニットに放送された3つのセッションで、ホンジュラス・テグシガルバ神殿が奉獻された。

これまで数時間かけてグアテマラ・グアテマラシティ神殿に参入していたホンジュラスの会員は、国内で初めての神殿が奉獻されたことを喜んだ。この神殿の建設は最初、2006年6月9日に大管長会によって発表され、2009年9月12日に現在の場所^{くわい}で鉄入れ式が行われた。

モンソン大管長、ドイツを訪問する

2012年の後半に、トーマス・S・モンソン大管長がドイツを訪問し、ハンブルク、ベルリン、ミュンヘン、およびフランクフルトにいる教会員と会い、イエス・キリストに従うように勧めた。

「主は赦すこと^{ゆる}によって赦しを教えられました」とモンソン大管長はフランクフルトの会員に話した。「主は憐れむこと^{あわ}によって憐れみを教えられました。主は御自身をささげることによって献身を教えられました。」

聖霊がわたしを教えてください

わたしの家族が教会に入ってからずっと、『リアホナ』を読んで得られる力を見てきました。機関誌で読んだ意味深い言葉から、わたしは伝道に出るよう^{よう}に靈感を受けました。多くのテーマがその中で採り上げられていますが、わたしにとって重要なことは、それを読む度に聖霊が教えてください^をということ。実際に、教えられている原則を研究し、読み、応用するときに、わたしたちは敵地の中でも自由でいられます(ポイド・K・パッカー「敵陣で生き抜く方法」『リアホナ』2012年10月号、34参照)。救い主は生きておられ、神権は地上にあり、神は天におられます。

ニュートン・T・センヤン(ウガンダ共和国)

訂正

2012年10月号『リアホナ』76-77ページの「インドで最初のステークが組織される」の話にある写真の撮影者の表記に誤りがありました。写真はグラディス・ウィグ姉妹が撮影しました。お詫びして訂正いたします。

2012年12月号『リアホナ』24ページにある記事「神聖な変化」の中で話されているピヒル家族は2011年6月ではなく、2010年7月にバプテスマを受けました。娘のアンドレア・ピヒルは2011年8月ではなく、7月に生まれました。

源から飲む

編集者、教会出版サービス
アロン・L・ウェスト

わたしたちは神殿の美しさについて語るとき、普通は尖塔や窓、壁画のことを話題にします。バプテスマフォント、エンダウメントの部屋、結び固めの部屋、また日の栄えの部屋について敬虔な気持ちで話します。

しかし、預言者は神殿を主に奉献するとき、建物全体を奉献します。人々が注目する美しい部分だけではありません。トーマス・S・モンソン大管長は、ミズーリ州カンザスシティ神殿の祈りの中で次のように述べています。「わたしたちはこの神殿が建っている敷地を奉献します。この美しい建物のあらゆる部分を、目に見えない基礎から建物の頂にある荘厳なモロナイ像に至るまですべてを奉献します。」¹ ジョセフ・フィールディング・スミス大管長は、ユタ州オグデン神殿で奉献の祈りをささげたとき、「基礎、壁、床、天井、塔、また建物のすべての部分を」奉献しました。そして、「すべての機械部品、照明の電気配線と器具、換気設備とエレベーター、またこの建物にかかわるすべての物」が守られるようにと祈り求めました。²

わたしは、すべての神殿のすべての部分を奉献するように主が預言者に靈感を与えておられることに感謝しています。ドアの蝶番ちようばんや照明器具は結び固めの部屋の聖壇に比べれば、神殿



イエス・キリストは
生ける水の
源です。

の目的を遂げるのにその働きは確かに小さいでしょう。しかし、このように小さな部分も、昇栄をもたらすという神殿の究極の目的を達成するのに貢献しているのです。

これらの小さな部分の一つから、わたしはいつまでも心に残る教訓を得ることができました。ある日、ソルトレーク神殿で死者のための儀式に参加した後、更衣室を出ようとしたときのことです。水飲み器が目にとまり、のどが渇いていたので、早く飲もうとして身をかがめました。そのとき、一つの思いが心にわいてきました。

あなたは神殿でこの水を飲んでいるが、ここで得られる生ける水をほんとうに飲んでいるか。

それは手厳しい非難ではなく、実に優しい叱責しっせきであり、魂を貫く問いかけでした。

その問いかけに対するわたしの返答は、「いいえ」でした。わたしは神殿の生ける水を完全には飲んでいませんでした。少し前の時間に死者のための儀式を受けたとき、わたしの心がふらついていたことを認めなければなりません。わたしの助けを必要としている人々のために善い働きをしてきたのに、自分が必要としている助けをすべては受けていないと考えていたのです。

今、わたしは神殿に参入する度に、水飲み器を探し、立ち止まって水を飲みます。そして、生ける水の源からどれくらいたくさん飲んでいるかと、自分自身に問いかけます。それから、わたしはこう答えます。「まだ十分ではないが、渇きは増している」と。■

注

1. トーマス・S・モンソン, "Kansas City Missouri Temple: 'Beacon of Divine Light'—an Offering of Hands and Hearts," *Church News*, 2012年5月12日付, ldschurchnews.com
2. ジョセフ・フィールディング・スミス, "Ogden Temple Dedicatory Prayer," *Ensign*, 1972年3月号, 12



こうしきの せんげん

イラスト／ロバート・T・バレット

ウィルフォード・ウッドラフ

1840年代に、ウィルフォード・ウッドラフは、イギリスで だんどうしました。ウッドラフちょうろうの はたらきの おかげで、1,000人いじょうの 人がバプテスマを うけました。後に ウィルフォード・ウッドラフは、ユタしゅうセントジョージしんでんの しんでんかいちょうを つとめました。また、だいかんちょうのとき、ユタが しゅうに なるよう 大きな はたらきを しました。さらに、けいじを うけて、こうしきの せんげん1を 出し、たさいけっこんをやめるよう、きょうかいいんを みちびきました。



オンラインビデオで、
イエス・キリストの生涯の場面が
biblevideos.lds.org から、
また、救い主の生涯最後の週の場面の
イメージ写真が、
本誌 26 ページでご覧いただけます。
ラッセル・M・ネルソン長老が
「イエス・キリストの使命と教導の業」
(18 ページ) で、救い主の教導の業から
わたしたちが生活において倣うことのできる
5 つの特質を教えます。

末日聖徒
イエス・キリスト
教会